

大学番号 065

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 研究科の設置
注1

事前伺い

広島大学大学院 人間社会科学研究科 教育科学専攻(博士課程前期)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人広島大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 財務・総務室財務・総務部総務グループ

職名・氏名 シュニン キタ ヨウコ
主任・北 陽子

電話番号 082-424-6014

(夜間) 082-424-6014

e-mail soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間社会科学研究科

＜教育科学専攻(博士課程前期)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	30
5. 教員組織の状況	36
6. 附帯事項等に対する履行状況等	81
7. その他全般的事項	84

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒739-0046

広島県東広島市鏡山一丁目1番1号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(コバヤシ シンイチ) 小林 信一 (令和2年4月)		
専攻長	(ウエダ タケシ) 上田 毅 (令和2年4月)	(マツバラ キミノリ) 松原 主典 (令和3年4月)	任期満了のため (R3.4.1)(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間社会科学研究科 教育科学専攻 (博士課程前期) 修士(教育学) 修士(教育心理学) 修士(国際協力学) 修士(学術)	教育学・保育 学関係	2年	163人	年次 人 -	326人		総合科学部 教育学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	163 (-) [-]	人 () []	人 (-) [-]	人 () []	1.02倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	287 (-) [139]	19 (-) [15]	252 (-) [111]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	279 (-) [136]	19 (-) [15]	241 (-) [106]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	174 (-) [60]	18 (-) [14]	156 (-) [43]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	169 (-) [59]	18 (-) [14]	149 (-) [43]	() []			
入学定員超過率 B/A									1.14		0.91				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から計算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	169 [59] (-)	18 [14] (-)	149 [43] (-)	[] ()			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	/		168 [59] (-)	18 [14] (-)			
3年次	/		/		[] ()	[] ()	/		/				
4年次	/		/		/		/		/				
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	187 [73] (-)	18 [14] (-)	335 [116] (-)				

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	187人	1人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	0人	就職(1人)
令和3年度	335人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{187} = \boxed{0.53} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{335} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間社会科学研究所 教育科学専攻（博士課程前期）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える	1・2 ①② ④	1								兼5
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2 ②	1								兼7
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2 ④	1		2						兼4
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2 ①	1		3						兼5
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2 ③	1								兼7
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2 ②	2								兼3
	ダイバーシティの理解	1・2 ②	1			1					兼3
	データリテラシー	1・2 ①②	1								兼2
	医療情報リテラシー	1・2 ③	1								兼9
	人文社会系キャリアマネジメント	1・2 ②③	2								兼1
	理工系キャリアマネジメント	1・2 ②	2								兼1
	ストレスマネジメント	1・2 ②④	2								兼1
	情報セキュリティ	1・2 ①	2								兼3
	MOT入門	1・2 ①③	1								兼1
	アントレプレナーシップ概論	1・2 ①	1								兼1
小計 (15科目)	—	0	20	0	4	1	0	0	0	0	兼48
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1①	2			5	1	1			兼42
	人間社会科学のための科学史	1・2 ②	2			4	2	1			兼43
	異分野協働プロジェクト	1・2 ①	2		1						兼9
	未来創造思考 (基礎)	1・2 ②	1								兼1
	国際標準化論	1・2 ②	1								兼1
	理工系のための経営組織論	1・2 ②	1								兼2
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1②	2								兼2
	小計 (7科目)	—	2	9	0	7	3	2	0	0	0
専攻共通科目	教育科学のための研究法と倫理	1・2 ①	2			5	1				
	教育科学と社会	1・2 ②	2			7	2				
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2 ③	2					1			
	Religious culture in public education	1・2 ④	2					1			
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2 ③	2			1					

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える	1・2 ②③ ④	1									兼10
	Japanese Experience of Social Development-Economy, Infrastructure, and Peace	1・2 ②	1									兼5
	Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health	1・2 ④	1		2							兼4
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2 ①②	1		3							兼5
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2 ③④	1									兼6
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2 後	2									兼3
	ダイバーシティの理解	1・2 前	1			1						兼3
	データリテラシー	1・2 ①② ③④	1									兼4
	医療情報リテラシー	1・2 ③	1									兼8
	人文社会系キャリアマネジメント	1・2 ② 前・後	2									兼3
	理工系キャリアマネジメント	1・2 前	2									兼1
	ストレスマネジメント	1・2 前④	2									兼2
	情報セキュリティ	1・2 前	2									兼3
	MOT入門	1・2 ① 前・後	1									兼1
	アントレプレナーシップ概論	1・2 ①	1									兼1
小計 (15科目)	—	0	20	0	4	1	0	0	0	0	0	兼54
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1①	2			5	2	1				兼49
	人間社会科学のための科学史	1・2 ②	2			4	5	3	1			兼50
	異分野協働プロジェクト	1・2 後	2		1							兼9
	未来創造思考 (基礎)	1・2 ②	1									兼1
	国際標準化論	1・2 ②	1									兼1
	理工系のための経営組織論	1・2 ②	1									兼2
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1②	2									兼2
	データビジュアライゼーションA	1・2 後	1									兼1
データビジュアライゼーションB	1・2 後	1									兼1	
環境原論A	1・2 後	1									兼1	
環境原論B	1・2 後	1									兼1	
小計 (11科目)	—	2	13	0	8	5	2	0	0	0	0	兼106
専攻共通科目	教育科学のための研究法と倫理	1・2 ①	2			19	14	3	1			兼2
	教育科学と社会	1・2 ②	2			23	11	4	1			兼1
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2 ②	2						1			
	Religious culture in public education	1・2 ③	2						1			
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2 ③	2			1						

	日本の教育開発経験									
	1・2 ③	2	4	4						
小計 (6科目)	—	0	12	0	9	5	2	0	0	0
学習開発学特別研究	1~2	4			3	3				
カリキュラム開発特別研究	1~2	4			4	3				
特別支援教育学特別研究	1~2	4			2	3	2			
自然システム教育学特別研究A	1~2	4			3	4				
自然システム教育学特別研究B	1~2	4			1	2				
数学教育学特別研究A	1~2	4			3		1			
数学教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) A	1~2	4			1	2				
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) B	1~2	4				1				
技術・情報教育学特別研究 (情報) A	1~2	4			2	1				
技術・情報教育学特別研究 (情報) B	1~2	4			1					
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) A	1~2	4			1	1				
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) B	1~2	4			1					
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A	1~2	4			1		2			
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) B	1~2	4			1	1				
国語文化教育学特別研究A	1~2	4			2	1				兼1
国語文化教育学特別研究B	1~2	4			2					
英語教育学特別研究A	1~2	4			1	1				
英語教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
健康スポーツ教育学特別研究A	1~2	4			3	2				
健康スポーツ教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
人間生活教育学特別研究A	1~2	4			2	3				
人間生活教育学特別研究B	1~2	4			1					
音楽教育学特別研究A	1~2	4			2	1				
音楽教育学特別研究B	1~2	4				1				
造形芸術教育学特別研究A	1~2	4			3	1				
造形芸術教育学特別研究B	1~2	4				2				
教室環境デザイン基礎研究	1①	2			1					
教室環境デザイン発展研究	1③	2				1				
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究a	1①	2			1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究b	1②	2				1				
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究a	1③	2			1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究b	1④	2				1				
I C T空間デザイン基礎研究	1②	2			1		1			
I C T空間デザイン発展研究	1④	2			1					
ラボラトリラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2			1	2				
フィールドラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2			2	2				
学習開発学基礎研究	1①	2			1	3				
学習開発学発展研究	1③	2			2					兼1

	日本の教育開発経験									
	1・2 ③	2	4	4						
小計 (6科目)	—	0	12	0	38	27	6	1	0	兼3
学習開発学特別研究	1~2	4			3	3				
カリキュラム開発特別研究	1~2	4			4	3				兼1
特別支援教育学特別研究	1~2	4			2	4	2			
自然システム教育学特別研究A	1~2	4			3	4				
自然システム教育学特別研究B	1~2	4			1	2				
数学教育学特別研究A	1~2	4			3		1			
数学教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) A	1~2	4			1	3				
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) B	1~2	4				1				
技術・情報教育学特別研究 (情報) A	1~2	4			3	1				
技術・情報教育学特別研究 (情報) B	1~2	4			1					
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) A	1~2	4			1	1				
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) B	1~2	4			1	1				
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A	1~2	4			1		2			
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) B	1~2	4			1	1				
国語文化教育学特別研究A	1~2	4			2	1				0
国語文化教育学特別研究B	1~2	4			2					
英語教育学特別研究A	1~2	4			1	1				
英語教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
健康スポーツ教育学特別研究A	1~2	4			3	3				
健康スポーツ教育学特別研究B	1~2	4			1	1				
人間生活教育学特別研究A	1~2	4			3	2				
人間生活教育学特別研究B	1~2	4			1					
音楽教育学特別研究A	1~2	4			2	1				
音楽教育学特別研究B	1~2 ②③ ④	4				2				
造形芸術教育学特別研究A	1~2	4			3	2				
造形芸術教育学特別研究B	1~2	4				2				
教室環境デザイン基礎研究	1④	2			1					
教室環境デザイン発展研究	1③	2				1				
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究a	1②	2			1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究b	1③	2				1				
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究c	1②	2				1				
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究a	1④	2			1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究b	1④	2				1				
I C T空間デザイン基礎研究	1②	2			1		1			
I C T空間デザイン発展研究	1④	2			1					
ラボラトリラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2			1	2				
フィールドラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2			2	2				
学習開発学基礎研究	1②	2			1	3				
学習開発学発展研究	1④	2			2					兼1

学習開発学特論	1①	2	5	5	2	1		
教科課程デザイン基礎研究 a	1①	2	3					
教科課程デザイン基礎研究 b	1①	2		1				
教科課程デザイン基礎研究 c	1①	2	1					
教科課程デザイン発展研究 a	1③	2	3					
教科課程デザイン発展研究 b	1③	2		1				
指導・評価法デザイン基礎研究	1① 又は ②	2	5	4				
指導・評価法デザイン発展研究	1③ 又は ④	2	5	4				
学力・コンピテンシーデザイン基礎研究	1① 又は ②	2	2	1				
学力・コンピテンシーデザイン発展研究	1③ 又は ④	2	2	1				
比較カリキュラムデザイン基礎研究	1① 又は ②	2	2	1				
比較カリキュラムデザイン発展研究	1③ 又は ④	2	2	1				
カリキュラムデザイン史基礎研究	1②	2		1				
カリキュラムデザイン史発展研究	1④	2		1				
子どもと学習材デザイン基礎研究 a	1①	2		2		兼1		
子どもと学習材デザイン基礎研究 b	1①	2		1				
子どもと学習材デザイン基礎研究 c	1①	2		1				
子どもと学習材デザイン発展研究 a	1③	2		2		兼1		
子どもと学習材デザイン発展研究 b	1③	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1②	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (数学)	1①	2	1					
STEMと学習材デザイン基礎研究 (情報)	1①	2	1					
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) a	1③	2	1					
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) b	1④	2		1				
STEMと学習材デザイン発展研究 (情報)	1③	2	1					
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (技術・工業)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (社会・地理歴史)	1①	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (家庭)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (理科) a	1③	2	1					
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (理科) b	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (技術・工業)	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (社会・地理歴史)	1③	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (家庭)	1④	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					

学習開発学特論	1①	2	5	5	2	1		
教科課程デザイン基礎研究 a	1① ③前	2	3					
教科課程デザイン基礎研究 b	1①	2		1				
教科課程デザイン基礎研究 c	1①	2	1					
教科課程デザイン発展研究 a	1③ ④後	2	3					
教科課程デザイン発展研究 b	1③	2		1				
指導・評価法デザイン基礎研究	1① 又は ②	2	5	4				
指導・評価法デザイン発展研究	1③ 又は ④	2	5	4				
学力・コンピテンシーデザイン基礎研究	1②	2	2	2				
学力・コンピテンシーデザイン発展研究	1④	2	2	2				
比較カリキュラムデザイン基礎研究	1① 又は ②	2	2	1				
比較カリキュラムデザイン発展研究	1③ 又は ④	2	2	1				
カリキュラムデザイン史基礎研究	1②	2		2				
カリキュラムデザイン史発展研究	1④	2		2				
子どもと学習材デザイン基礎研究 a	1① ②	2		2		兼1		
子どもと学習材デザイン基礎研究 b	1①	2		1				
子どもと学習材デザイン基礎研究 c	1③	2		1				
子どもと学習材デザイン発展研究 a	1③	2		2		兼1		
子どもと学習材デザイン発展研究 b	1③	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1②	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (数学)	1②	2	1					
STEMと学習材デザイン基礎研究 (情報)	1①	2	1					
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) a	1③	2	1					
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) b	1④	2		1				
STEMと学習材デザイン発展研究 (情報)	1③	2	1					
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (技術・工業)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (社会・地理歴史)	1①	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究 (家庭)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (理科) a	1③	2	1					
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (理科) b	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (技術・工業)	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (社会・地理歴史)	1③	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究 (家庭)	1④	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2	1					

プログラム専門科目	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ④	2				1														
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (英語)	1 ③	2				1														
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1 ④	2				1														
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究 (社会・地理歴史)	1 ①	2				1														
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 ①	2				1														
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究 (社会・地理歴史)	1 ③	2				1														
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ③	2				1														
	表象・文化と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 ②	2								兼1										
	表象・文化と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ④	2							兼1											
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (健康スポーツ)a	1 ①	2				1	1													
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (健康スポーツ)b	1 ②	2				1														
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1 ①	2				1														
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (健康スポーツ)a	1 ③	2				1	1													
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (健康スポーツ)b	1 ④	2				1														
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (美術)	1 ③	2				1														
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1 ②	2					1													
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1 ①	2					1													
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (家庭)	1 ①	2					1													
	生活・科学と学習材デザイン発展研究 (理科) a	1 ④	2					1													
	生活・科学と学習材デザイン発展研究 (理科) b	1 ③	2					1													
生活・科学と学習材デザイン発展研究 (家庭)	1 ③	2					1														
表現と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 ①	2				1															
表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽)	1 ①	2				1															
表現と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1 ②	2				1															
表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ③	2				1															
表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1 ③	2				1															
表現と学習材デザイン発展研究 (美術)	1 ④	2				1															

言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ③	2																			
言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (英語)	1 ①	2					1														
言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1 ④	2					1														
地域・歴史と学習材デザイン基礎研究 (社会・地理歴史)	1 ①	2					1														
地域・歴史と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 ①	2					1														
地域・歴史と学習材デザイン発展研究 (社会・地理歴史)	1 ③	2					1														
地域・歴史と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ④	2					1														
表象・文化と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 前	2																			兼1
表象・文化と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1 ①	2																			1
表象・文化と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ④	2																			兼1
表象・文化と学習材デザイン発展研究 (美術)	1 ③	2																			1
こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (健康スポーツ)a	1 ②	2					1	1													
こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (健康スポーツ)b	1 ③	2					1														
こころ・身体と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1 ①	2					1														
こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (健康スポーツ)a	1 ④	2					1	1													
こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (健康スポーツ)b	1 ②	2					1														
こころ・身体と学習材デザイン発展研究 (美術)	1 ③	2					1														
生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1 ②	2						1													
生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1 ②	2						1													
生活・科学と学習材デザイン基礎研究 (家庭)	1 ①	2						1													0
生活・科学と学習材デザイン発展研究 (理科) a	1 ④	2						1													
生活・科学と学習材デザイン発展研究 (理科) b	1 ③	2						1													
生活・科学と学習材デザイン発展研究 (家庭)	1 ③	2						1													0
表現と学習材デザイン基礎研究 (国語)	1 ②	2						1													
表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽)	1 ①	2						1													
表現と学習材デザイン基礎研究 (美術)	1 ②	2						1													
表現と学習材デザイン発展研究 (国語)	1 ④	2						1													
表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)	1 ③	2						1													
表現と学習材デザイン発展研究 (美術)	1 ④	2						1													

教育支援者専門知デザイン基礎研究	1①	2	2	3														
教育支援者専門知デザイン発展研究	1③	2	2	3														
教師の成長・キャリアデザイン基礎研究	1①	2		1														
教師の成長・キャリアデザイン発展研究	1③	2		1														
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究	1②	2		1														
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究	1④	2		1														
教師教育ブラクティカム基礎研究	1①	2		1														
教師教育ブラクティカム発展研究	1③	2		1	1													
実習指導・授業研究デザイン基礎研究	1②	2		1														
実習指導・授業研究デザイン発展研究	1④	2		1														
特別支援教育学特論	1②	2		1														
特別支援教育実践研究	1前	2	2	3	2	1												
発達障害指導法特論	1③	2		1			1											
コミュニケーション障害指導法特論	1③	2		1														
重複障害指導法特論	1②	2			1													
視覚障害指導法特論	1①	2			1													
視覚障害学演習	1③	2		1	1													
視覚障害心理学特論	1②	2		1														
聴覚障害指導法特論	1②	2		1														
聴覚障害学演習	1④	2		1														
聴覚障害心理学特論	1①	2		1														
知的障害指導法特論	1①	2		1														
知的障害学演習	1④	2		1														
知的障害心理学特論	1①	2		1														
肢体不自由指導法特論	1①	2			1													
肢体不自由心理学特論	1②	2			1													
病弱教育特論	1③	2			1													
病弱生理・病理特論	1前	2			1													
特別支援教育ファシリテーション論	1通	2			1													
学校心理学	1④	2	2	1														
学習支援論	1①	2		1														
学校臨床心理学	1③	2					兼1											
心理教育的アセスメント演習	1②	2		1														
学校カウンセリング論演習	1④	2		1														
生涯キャリア形成支援論	1②	2		1														
知識構成論	1④	2		1														
小計 (169科目)	-	0	392	0	43	36	5	1	0	兼3								

教育支援者専門知デザイン基礎研究	1前	2	2	3														
教育支援者専門知デザイン発展研究	1後	2	2	3														
教師の成長・キャリアデザイン基礎研究	1②	2		1														
教師の成長・キャリアデザイン発展研究	1③	2		1														
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究	1①	2		1														
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究	1③	2		1														
教師教育ブラクティカム基礎研究	1④	2		1														
教師教育ブラクティカム発展研究	1後	2		1	1													
実習指導・授業研究デザイン基礎研究	1②	2		1														
実習指導・授業研究デザイン発展研究	1後	2		1														
特別支援教育学特論	1②	2		1														
特別支援教育実践研究	1前	2	2	3	2	1												
発達障害指導法特論	1③	2		1													1	
コミュニケーション障害指導法特論	1③	2		1														
重複障害指導法特論	1②	2															1	
視覚障害指導法特論	1①	2			1												1	
視覚障害学演習	1③	2		1	1												1	
視覚障害心理学特論	1②	2		1														
聴覚障害指導法特論	1③	2		1													2	
聴覚障害学演習	1④	2		1													2	
聴覚障害心理学特論	1①	2		1														
知的障害指導法特論	1①	2		1														
知的障害学演習	1④	2		1														
知的障害心理学特論	1①	2		1														
肢体不自由指導法特論	1①	2			1													1
肢体不自由心理学特論	1②	2			1													1
病弱教育特論	1③	2			1													1
病弱生理・病理特論	1前	2			1													1
特別支援教育ファシリテーション論	1通	2			1													
学校心理学	1③	2	2	1														
学習支援論	1②	2		1														
学校臨床心理学	1③	2																兼1
心理教育的アセスメント演習	1①	2		1														
学校カウンセリング論演習	1②	2		1														
生涯キャリア形成支援論	1④	2		1														
知識構成論	1①	2		1														
小計 (172科目)	-	0	398	0	44	40	5	1	0	兼7								

教育哲学特講 I	1②	1		1														
教育哲学特講 II	1②	1		1														
日本東洋教育史特講 I	1①	1		1														
日本東洋教育史特講 II	1①	1		1														
西洋教育史特講 I	1①	1		1														
西洋教育史特講 II	1①	1		1														
教育社会学特講 I	1③	1		1														
教育社会学特講 II	1③	1		1														
教育方法学特講 I	1②	1		1														
教育方法学特講 II	1②	1		1														
社会教育学特講 I	1②	1		1														
社会教育学特講 II	1②	1		1														
教育行政学特講 I	1③	1		1														

教育哲学特講 I	1②	1		0	1													
教育哲学特講 II	1②	1		0	1													
日本東洋教育史特講 I	1①	1		1														
日本東洋教育史特講 II	1①	1		1														
西洋教育史特講 I	1①	1		1														
西洋教育史特講 II	1②	1		1														
教育社会学特講 I	1①	1		0	1													
教育社会学特講 II	1②	1		0	1													
教育方法学特講 I	1②	1		1														
教育方法学特講 II	1②	1		1														
社会教育学特講 I	1前	1		0														兼1
社会教育学特講 II	1前	1		0														兼1
教育行政学特講 I	1②	1		1														

	日本語習得論特講	1・2③	2	1							
	言語教育心理学特講	1・2③	2	1							
	日本語教育評価法特講	1・2③	2	1							
	年少者日本語教育特講	1・2③	2	1							
	日本語構造論特講	1・2①	2	1							
	日本語表現法特講	1・2①	2	1							
	対照言語学特講	1・2①	2	1							
	社会言語学特講	1・2③	2	1							
	異文化間教育学特講	1・2①	2	1							
日本語教育学プログラム	文化社会学特講	1・2②	2	1							
	日本近代文学特講	1・2③	2	1							
	日本語習得論演習	1・2④	2	1							
	言語教育心理学演習	1・2②	2	1							
	日本語教育評価法演習	1・2④	2	1							
	年少者日本語教育演習	1・2④	2	1							
	日本語構造論演習	1・2②	2	1							
	日本語表現法演習	1・2②	2	1							
	対照言語学演習	1・2③	2	1							
	社会言語学演習	1・2④	2	1							
	異文化間教育学演習	1・2③	2	1							
	文化社会学演習	1・2④	2	1							
	日本近代文学演習	1・2④	2	1							
	国内日本語教育実践研究	1・2①②	2	3	2						
	海外日本語教育実践研究	1・2③④	2	3	2						
	小計(26科目)	—	0	48	4	7	4	0	0	0	0
国際教育開発プログラム	教育基礎論	1・2④	2	1							
	国際教育協力論	1・2①	2	1							
	教育人材開発論	1・2②	2	1							
	ノンフォーマル教育論	1・2④	2	1							
	理科教育開発論	1・2②	2	1					兼1		
	科学教育開発基礎論	1・2①	2	1					兼1		
	教学教育開発論	1・2③	2	1							
	高等教育開発論	1・2①	2	1							
	教育協力実践基礎論Ⅰ	1・2①	2	2	2				兼2		
	教育協力実践基礎論Ⅱ	1・2②	2	2	2						
	国際教育協力実践研究	1・2④	2	1							
	基礎教育開発論	1・2①	2	1							
	教育協力事業評価論	1・2③	2	1							
	教科教育授業論	1・2②	2	2	1						
	途上国の比較教育学	1・2③	2	1							
	インクルーシブ教育論	1・2②	2	1							
	平和社会のための教育	1・2①	2	1							
	教育統計概論	1・2④	2	1							
	教育開発フィールドワーク論	1・2②	2	3							
	地域カリキュラム開発論	1・2③	2	1							
	スポーツ教育開発論	1・2④	2	1							
	グローバルシティーシップ教育論	1・2④	2	1							
	幼児教育・保育開発論Ⅰ	1・2③	2	1							
	幼児教育・保育開発論Ⅱ	1・2④	2	1							

	日本語教育学特講	1・2③	2	1							
	日本語習得論特講	1・2③	2	1							
	言語教育心理学特講	1・2③	2	1							
	日本語教育評価法特講	1・2③	2	1							
	年少者日本語教育特講	1・2③	2	1							
	日本語構造論特講	1・2①	2	1							
	日本語表現法特講	1・2①	2	1							
	対照言語学特講	1・2②	2	1							
	社会言語学特講	1・2③	2	1							
	異文化間教育学特講	1・2①	2	1							
日本語教育学プログラム	文化社会学特講	1・2②	2	1							
	日本近代文学特講	1・2③	2	0					兼1		
	日本語教育学演習	1・2④	2	1							
	日本語習得論演習	1・2④	2	1							
	言語教育心理学演習	1・2②	2	1							
	日本語教育評価法演習	1・2④	2	1					兼1		
	年少者日本語教育演習	1・2④	2	1							
	日本語構造論演習	1・2②	2	1							
	日本語表現法演習	1・2②	2	1							
	対照言語学演習	1・2③	2	1							
	社会言語学演習	1・2④	2	1							
	異文化間教育学演習	1・2③	2	1							
	文化社会学演習	1・2④	2	1							
	日本近代文学演習	1・2④	2	0					兼1		
	国内日本語教育実践研究	1・2①②	2	4	1						
	海外日本語教育実践研究	1・2③④	2	4	1						
	小計(28科目)	—	0	52	4	7	3	0	0	0	2
国際教育開発プログラム	教育基礎論	1・2③	2	1				1			
	国際教育協力論	1・2①	2	1					1		
	教育人材開発論	1・2①	2	1							
	ノンフォーマル教育論	1・2②	2	1							
	理科教育開発論	1・2①	2	1							0
	科学教育開発基礎論	1・2④	2	1							0
	教学教育開発論	1・2②	2	1							
	高等教育開発論	1・2②	2	1							
	教育協力実践基礎論Ⅰ	1・2①	2	2	2						兼1
	教育協力実践基礎論Ⅱ	1・2②	2	2	2						
	国際教育協力実践研究	1・2③	2	1							
	基礎教育開発論	1・2②	2	1							
	教育協力事業評価論	1・2③	2	1							
	教科教育授業論	1・2④	2	2	1						
	途上国の比較教育学	1・2①	2	1							
	インクルーシブ教育論	1・2①	2	1							
	平和社会のための教育	1・2①	2	1							
	教育統計概論	1・2④	2	1							
	教育開発フィールドワーク論	1・2①	2	3							
	地域カリキュラム開発論	1・2②	2	1							
	スポーツ教育開発論	1・2④	2	1							
	グローバルシティーシップ教育論	1・2④	2	1							
	幼児教育・保育開発論Ⅰ	1・2①	2	1							
	幼児教育・保育開発論Ⅱ	1・2③	2	1							
	民族言語教育論	1・2②	2	1							
	民族言語文化論	1・2②	2	1							
	教育開発計画論Ⅰ	1・2①	2	1							
	教育開発計画論Ⅱ	1・2④	2	1							

小計 (24科目)	—	0	48	0	8	6	0	0	0	0	兼3
特別研究	1~2		4		22	19	1				兼1
小計 (281科目)	—	0	572	4	64	55	6	1	0	0	兼10
合計 (309科目)	—	2	613	4	64	56	8	1	0	0	兼146

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。

修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上
研究科共通科目	4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
専攻共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上
	特別研究	4単位
他プログラム専門科目	2単位以上	
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目	4単位以上	
合計	30単位以上	

インターンシップ	1・2前後		2		8						
フィールドワーク	1・2前後		2		8						
小計 (30科目)	—	0	60	0	9	7	0	1	0	0	兼1
特別研究	1~2		4		25	20	1				兼3
小計 (292科目)	—	0	594	4	66	60	9	3	0	0	兼11
合計 (324科目)	—	2	639	4	66	60	9	3	0	0	兼170

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。

修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	持続可能な発展科目	1単位以上
	キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上
研究科共通科目	4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
専攻共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	所属プログラム専門科目	12単位以上
	特別研究	4単位
他プログラム専門科目	2単位以上	
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目	4単位以上	
合計	30単位以上	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	Hiroshimaから世界平和を考える	1・2 ②③ ④		1								兼9
	Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace	1・2 ②		1								兼6
	Japanese Experience of Human Development- Culture, Education, and Health	1・2 ④		1		2						兼4
	SDGsへの学問的アプローチA	1・2 ①②		1		3						兼5
	SDGsへの学問的アプローチB	1・2 ③④		1								兼7
	SDGsへの実践的アプローチ	1・2 後		2								兼3
	ダイバーシティの理解	1・2 前		1		1						兼3
	データリテラシー	1・2 ①②		1								兼2
	医療情報リテラシー	1・2 ③		1								兼7
	人文社会系キャリアマネジメント	1・2 ②③		2								兼1
	理工系キャリアマネジメント	1・2 前		2								兼1
	ストレスマネジメント	1・2 ②④		2								兼2
	情報セキュリティ	1・2 前		2								兼3
	MOT入門	1・2 ①②		1								兼1
	アントレプレナーシップ概論	1・2 前		1								兼1
小計 (15科目)	—	0	20	0	4	1	0	0	0		兼50	
研究科共通科目	人間社会科学特別講義	1①	2			7	6	1				兼46
	人間社会科学のための科学史	1・2 ②	2			9	5	1				兼48
	異分野協働プロジェクト	1・2 後	2		1							兼9
	未来創造思考 (基礎)	1・2 ②	1									兼1
	ルール形成のための国際標準化	1・2 ②	1									兼1
	理工系のための経営組織論	1・2 ②	1									兼2
	平和教育の構築への実践的アプローチ	1②	2									兼2
	データビジュアライゼーションA	1・2 後	1									兼1
	データビジュアライゼーションB	1・2 後	1									兼1
	環境原論A	1・2 後	1									兼1
	環境原論B	1・2 後	1									兼1
小計 (11科目)	—	2	13	0	12	10	2	0	0		兼88	
専攻共通科目	教育学のための研究法と倫理	1・2 ①	2			19	14	3				兼2
	教育学と社会	1・2 ②	2			23	12	4				
	Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible	1・2 ②	2					1				
	Religious culture in public education	1・2 ③	2					1				
	Academic Writing for Graduate Students in Education	1・2 ③	2			1						
	日本の教育開発経験	1・2 ③	2		4	4						
	小計 (6科目)	—	0	12	0	38	27	6	0	0		兼2
	学習開発学特別研究	1~2		4		3	3					
	カリキュラム開発特別研究	1~2		4		4	3					兼1
	特別支援教育学特別研究	1~2		4		2	3	2				
	自然システム教育学特別研究A	1~2		4		3	4					
	自然システム教育学特別研究B	1~2		4		1	2					

教学教育学特別研究 A	1~2	4	3	1					
教学教育学特別研究 B	1~2	4	1	1					
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) A	1~2	4	1	3					
技術・情報教育学特別研究 (技術・工業) B	1~2	4		1					
技術・情報教育学特別研究 (情報) A	1~2	4	3	1					
技術・情報教育学特別研究 (情報) B	1~2	4	1						
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) A	1~2	4	1	1					
社会認識教育学特別研究 (社会・地理歴史) B	1~2	4	1						
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) A	1~2	4	1		2				
社会認識教育学特別研究 (社会・公民) B	1~2	4	1	1					
国語文化教育学特別研究 A	1~2	4	2	0				兼1	
国語文化教育学特別研究 B	1~2	4	2						
英語教育学特別研究 A	1~2	4	1	1					
英語教育学特別研究 B	1~2	4	1	1					
健康スポーツ教育学特別研究 A	1~2	4	3	2					
健康スポーツ教育学特別研究 B	1~2	4	1	1					
人間生活教育学特別研究 A	1~2	4	3	2					
人間生活教育学特別研究 B	1~2	4	1						
音楽教育学特別研究 A	1~2	4	2	1					
音楽教育学特別研究 B	1~2	4		1					
造形芸術教育学特別研究 A	1~2	4	3	1					
造形芸術教育学特別研究 B	1~2	4		2					
教室環境デザイン基礎研究	1④	2	1						
教室環境デザイン発展研究	1③	2		1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究a	1②	2	1						
人間関係 (コミュニケーション) デザイン基礎研究b	1③	2		1					
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究a	1④	2	1						
人間関係 (コミュニケーション) デザイン発展研究b	1④	2		1					
I C T空間デザイン基礎研究	1②	2	1		1				
I C T空間デザイン発展研究	1④	2	1						
ラボラトリーラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2	1	2					
フィールドラーニングデザイン研究 (理科)	2前	2	2	2					
学習開発学基礎研究	1②	2	1	3					
学習開発学発展研究	1④	2	2					兼1	
学習開発学特論	1①	2	5	5	2	1			
教科課程デザイン基礎研究 a	1① ③	2	3						
教科課程デザイン基礎研究 b	1①	2		1					
教科課程デザイン基礎研究 c	1①	2	1						
教科課程デザイン発展研究 a	1③ ④	2	3						

教科課程デザイン発展研究 b	1③	2		1				
指導・評価法デザイン基礎研究	1① 又は ②	2	5	4				
指導・評価法デザイン発展研究	1③ 又は ④	2	5	4				
学力・コンピテンシーデザイン基礎研究	1① 又は ②	2	2	1				
学力・コンピテンシーデザイン発展研究	1③ 又は ④	2	2	1				
比較カリキュラムデザイン基礎研究	1① 又は ②	2	2	1				
比較カリキュラムデザイン発展研究	1③ 又は ④	2	2	1				
カリキュラムデザイン史基礎研究	1②	2		1				
カリキュラムデザイン史発展研究	1④	2		1				
子どもと学習材デザイン基礎研究 a	1① ②	2		2			兼1	
子どもと学習材デザイン基礎研究 b	1①	2		1				
子どもと学習材デザイン基礎研究 c	1③	2		1				
子どもと学習材デザイン発展研究 a	1③	2		2			兼1	
子どもと学習材デザイン発展研究 b	1③	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) a	1①	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (理科) b	1②	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (数学)	1②	2		1				
STEMと学習材デザイン基礎研究 (情報)	1①	2		1				
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) a	1③	2		1				
STEMと学習材デザイン発展研究 (理科) b	1④	2		1				
STEMと学習材デザイン発展研究 (情報)	1③	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a	1①	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)b	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①	2		1				
環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a	1③	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)b	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③	2		1				
環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科) a	1①	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学) a	1②	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学) b	1③	2		1				
科学・文化と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1②	2		1				

教師教育デザイン学プログラム	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①	2			1			
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①	2	1					
	科学・文化と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①	2	1					
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科) a	1③	2	1					
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1④	2		1				
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③	2			1			
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③	2	1					
	科学・文化と学習材デザイン発展研究(美術)	1③	2	1					
	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)	1①	2	1	1				
	ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報)	1②	2	1	1				
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)	1③	2	1	1				
	ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)	1④	2	1	1				
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1②	2	1					
	社会・生活と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①	2	1					
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1④	2	1					
	社会・生活と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③	2	1					
	創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民)	1①	2			1			
	創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1②	2		1				
	創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①	2		1				
	創造性と学習材デザイン基礎研究(美術)	1②	2		1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)	1③	2			1			
	創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)	1④	2		1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)	1③	2		1				
	創造性と学習材デザイン発展研究(美術)	1④	2		1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②	2		0				兼1
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)	1③	2		1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1②	2		1				
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)	1④	2		0				兼1

プログラム専門科目	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(英語)	1①	2	1					
	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(音楽)	1④	2	1					
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史)	1①	2	1					
	地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語)	1①	2	1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)	1③	2	1					
	地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)	1③	2	1					
	表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②	2					兼1	
	表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)	1④	2					兼1	
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a	1②	2	1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b	1④	2	1					
	こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(美術)	1①	2	1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a	1④	2	1	1				
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b	1②	2	1					
	こころ・身体と学習材デザイン発展研究(美術)	1③	2	1					
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) a	1②	2		1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) b	1①	2		1				
	生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)	1①	2	1	0				
	生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) a	1④	2		1				
	生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) b	1③	2		1				
	生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)	1③	2	1	0				
	表現と学習材デザイン基礎研究(国語)	1②	2	1					
	表現と学習材デザイン基礎研究(音楽)	1①	2	1					
	表現と学習材デザイン基礎研究(美術)	1②	2	1					
	表現と学習材デザイン発展研究(国語)	1④	2	1					
	表現と学習材デザイン発展研究(音楽)	1③	2	1					
	表現と学習材デザイン発展研究(美術)	1④	2	1					
教育支援者専門知デザイン基礎研究	1前	2	2	3					

教育支援者専門知デザイン発展研究	1 後	2	2	3						
教師の成長・キャリアデザイン基礎研究	1 ㊸	2		1						
教師の成長・キャリアデザイン発展研究	1 ㊹	2		1						
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究	1 ㊺	2		1						
教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究	1 ㊻	2		1						
教師教育ブラクティカム基礎研究	1 ㊼	2		1						
教師教育ブラクティカム発展研究	1 ㊽	2	1	1						
実習指導・授業研究デザイン基礎研究	1 ㊾	2		1						
実習指導・授業研究デザイン発展研究	1 ㊿	2		1						
特別支援教育学特論	1 ㊽	2		1						
特別支援教育実践研究	1 前	2	2	3	2	1				
発達障害指導法特論	1 ㊿	2		1				1		
コミュニケーション障害指導法特論	1 ㊿	2		1						
重複障害指導法特論	1 ㊽	2				1				
視覚障害指導法特論	1 ㊽	2				1				
視覚障害学演習	1 ㊿	2		1	1					
視覚障害心理学特論	1 ㊽	2		1						
聴覚障害指導法特論	1 ㊿	2		1						
聴覚障害学演習	1 ㊽	2		1						
聴覚障害心理学特論	1 ㊽	2		1						
知的障害指導法特論	1 ㊿	2		1						
知的障害学演習	1 ㊽	2		1						
知的障害心理学特論	1 ㊽	2		1						
肢体不自由指導法特論	1 ㊽	2				1				
肢体不自由心理学特論	1 ㊽	2				1				
病弱教育特論	1 ㊿	2				1				
病弱生理・病理特論	1 前	2				1				
特別支援教育ファンクション論	1 通	2		1						
学校心理学	1 ㊿	2	2	1						
学習支援論	1 ㊸	2		1						
学校臨床心理学	1 ㊿	2								兼1
心理教育的アセスメント演習	1 ㊽	2		1						
学校カウンセリング論演習	1 ㊸	2		1						
生涯キャリア形成支援論	1 ㊽	2		1						
知識構成論	1 ㊽	2		1						
小計 (169科目)	—	0	392	0	44	34	5	1	0	兼6
教育哲学特講 I	1 ㊽	1		0	1					
教育哲学特講 II	1 ㊽	1		0	1					
日本東洋教育史特講 I	1 ㊽	1		1						
日本東洋教育史特講 II	1 ㊽	1		1						
西洋教育史特講 I	1 ㊽	1		1						
西洋教育史特講 II	1 ㊸	1		1						
教育社会学特講 I	1 ㊽	1		1						
教育社会学特講 II	1 ㊸	1		1						
教育方法学特講 I	1 ㊽	1		1						
教育方法学特講 II	1 ㊽	1		1						
社会教育学特講 I	1 ㊽	1		1						
社会教育学特講 II	1 ㊽	1		1						
教育行財政学特講 I	1 ㊸	1		1						
教育行財政学特講 II	1 ㊸	1		1						

	比較国際教育学特講 I	1①	1		1													
	比較国際教育学特講 II	1①	1		1													
	教育経営学特講 I	1②	1		1													
	教育経営学特講 II	1②	1		1													
	幼児教育学特講 I	1④	1			1												
	幼児教育学特講 II	1④	1		1													
	異文化間理解の社会理論と実践特講 I	1②	1			1												
	異文化間理解の社会理論と実践特講 II	1②	1			1												
	教育哲学演習 I	1④	1		1													
	教育哲学演習 II	1④	1		1													
	日本東洋教育史演習 I	1③	1		1													
	日本東洋教育史演習 II	1③	1		1													
	西洋教育史演習 I	1③	1			1												
	西洋教育史演習 II	1③	1			1												
	教育社会学演習 I	1③	1		1													
	教育社会学演習 II	1④	1		1													
	教育方法学演習 I	1③	1			1												
	教育方法学演習 II	1③	1			1												
	社会教育学演習 I	1③	1			1												
	社会教育学演習 II	1④	1			1												
	教育行財政学演習 I	1③	1			1												
	教育行財政学演習 II	1③	1			1												
	比較国際教育学演習 I	1③	1			1												
	比較国際教育学演習 II	1③	1			1												
	教育経営学演習 I	1③	1			1												
	教育経営学演習 II	1③	1			1												
	幼児教育学演習 I	1③	1			1												
	幼児教育学演習 II	1③	1			1												
	教育調査統計学演習	1前	2			1												
	教育学フィールドワーク演習	1④	2			1												
	高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法)	1前・後	2		3		1		1									兼2
	高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策)	1前・後	2		3		0		0									
	Comparative Studies in Higher Education	1・2前	2				1		1									
	大学教育論	1・2後	2				0											兼1
	大学カリキュラム開発論	1・2前	2			1												
	高等教育目標論	1・2前	2			1												
	高等教育経済論	1・2後	2															兼1
	高等教育組織論・職員論	1・2前	2					1										
	高等教育評価論	1・2後	2					1										
	高等教育アドミッション論	1・2後	2			1												
	学術政策論	1・2後	2															兼1
	学生論	1・2後	2															兼1
	Advanced Statistics	1・2後	2															兼1
	Higher Education in Japan	1前	2			2		2		1								兼3
	Development of Higher Education	1・2②	2			1												
	学費政策論	1・2後	2															兼1
	高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究)	1・2前	2			2		1		0								兼1
	小計(61科目)	—	0	80	0	10	9	1	0	0								兼6
	日本語教育研究方法論	1・2前	2				8		2									
	日本語教育学研究プロジェクト	1・2後	2				8		2									
	日本語習得論特講	1・2③	2			1												
	言語教育心理学特講	1・2③	2			1												
	日本語教育評価法特講	1・2③	2				1		0									

日本語教育学プログラム	年少者日本語教育特講	1・2 ②	2		1							
	日本語構造論特講	1・2 ①	2		1							
	日本語表現法特講	1・2 ①	2		1							
	対照言語学特講	1・2 ②	2		1							
	社会言語学特講	1・2 ③	2		1							
	異文化間教育学特講	1・2 ①	2		1							
	文化社会学特講	1・2 ②	2		1							
	日本近代文学特講	1・2 ③	2		1							
	日本語習得論演習	1・2 ④	2		1							
	言語教育心理学演習	1・2 ②	2		1							
	日本語教育評価法演習	1・2 ④	2		1	0						
	年少者日本語教育演習	1・2 ③	2		1							
	日本語構造論演習	1・2 ②	2		1							
	日本語表現法演習	1・2 ②	2		1							
	対照言語学演習	1・2 ③	2		1							
	社会言語学演習	1・2 ④	2		1							
	異文化間教育学演習	1・2 ③	2		1							
	文化社会学演習	1・2 ④	2		1							
	日本近代文学演習	1・2 ④	2		1							
	国内日本語教育実践研究	1・2 前	2	4	1							
海外日本語教育実践研究	1・2 後	2	4	1								
小計 (26科目)	—	0	48	4	8	3	0	0	0	0		
国際教育開発プログラム	教育基礎論	1・2 ③	2		1							
	国際教育協力論	1・2 ①	2		1							
	教育人材開発論	1・2 ①	2		1							
	ノンフォーマル教育論	1・2 ②	2		1							
	理科教育開発論	1・2 ①	2		1					0		
	科学教育開発基礎論	1・2 ④	2		1					0		
	数学教育開発論	1・2 ②	2		1							
	高等教育開発論	1・2 ②	2		1							
	教育協力実践基礎論 I	1・2 ①	2	2	2						兼2	
	教育協力実践基礎論 II	1・2 ②	2	2	2							
	国際教育協力実践研究	1・2 ③	2		1							
	基礎教育開発論	1・2 ②	2		1							
	教育協力事業評価論	1・2 ③	2		1							
	教科教育授業論	1・2 ④	2	2	1							
	途上国の比較教育学	1・2 ①	2		1							
	インクルーシブ教育論	1・2 ①	2		1							
	平和社会のための教育	1・2 ①	2		1							
	教育統計概論	1・2 ④	2		1							
	教育開発フィールドワーク論	1・2 ①	2		3							
	地域カリキュラム開発論	1・2 ②	2		1							
	スポーツ教育開発論	1・2 ④	2		1							
	グローバルシティズンシップ教育論	1・2 ④	2		1							
	幼児教育・保育開発論 I	1・2 ①	2		1							
	幼児教育・保育開発論 II	1・2 ③	2		1							
	民族言語教育論	1・2 ②	2		1							
	民族言語文化論	1・2 ①	2		1							
教育開発計画論 I	1・2 ②	2		1								
教育開発計画論 II	1・2 ④	2		1								
インターンシップ	1・2 前後	2		8								
フィールドワーク	1・2 前後	2		8								
小計 (30科目)	—	0	60	0	9	7	0	0	0	0	兼2	

特別研究	1~2		4	26	20	1			兼3	
小計 (291科目)	—	0	584	4	67	53	6	1	0	兼22
合計 (319科目)	—	2	629	4	67	54	9	1	0	兼158

卒業要件及び履修方法

修了に必要な単位数を30単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文もしくは所定の基準による研究成果の審査及び最終試験又は博士論文研究基礎力審査に合格すること。

修了要件

科目区分	要修得単位数	指定科目等
大学院共通科目	1単位以上	
持続可能な発展科目	1単位以上	
キャリア開発・データリテラシー科目	1単位以上	
研究科共通科目	4単位以上	「必修」 人間社会科学特別講義：2単位
専攻共通科目	2単位以上	
プログラム専門科目	12単位以上	
所属プログラム専門科目	4単位	特別研究：4単位（教師教育デザイン学プログラムは、基幹領域科目）。
特別研究	4単位	
他プログラム専門科目	2単位以上	
所属プログラム専門科目または他プログラム専門科目	4単位以上	
合計	30単位以上	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<大学院共通科目>

- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教員の退職により、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「1・2①」から「1・2①②」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「1・2③」から「1・2③④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の見直しにより、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①②」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「アントレプレナーシップ概論」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。

<研究科共通科目>

- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学特別講義」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授1」から「准教授6」、「兼任・兼任42」から「兼任・兼任46」に変更。
- ・授業科目の名称を「国際標準化論」から「人間社会科学のための科学史」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授9」、「准教授2」から「准教授5」、「兼任・兼任43」から「兼任・兼任48」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「異分野協働プロジェクト」の配当年次を「1・2①」から「1・2後」に変更。
- ・授業科目の名称を「国際標準化論」から「ルール形成のための国際標準化」に変更。
- ・人間社会科学研究科の設置が認められたのちに、広島大学・グラーツ大学国際連携サステナビリティ学専攻の設置(令和2年10月開設)が認められたことを受け、また、研究科共通科目の英語科目を充実させるため、次の授業科目を新設。
「データビジュアルゼーションA」「データビジュアルゼーションB」「環境原論A」「環境原論B」

<専攻共通科目>

- ・授業科目の充実のため、「教育科学のための研究法と倫理」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授19」、「准教授1」から「准教授14」、「講師0」から「講師3」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「教育科学と社会」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授23」、「准教授2」から「准教授12」、「講師0」から「講師4」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Religious culture in public education」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。

<プログラム専門科目：教師教育デザイン学プログラム>

- ・授業科目の充実のため、「カリキュラム開発特別研究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究(情報)A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「国語文化教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員の昇任により、「人間生活教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教室環境デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学発展研究」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①③」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1③④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「子どもと学習材デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「子どもと学習材デザイン基礎研究c」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(英語)」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「表現と学習材デザイン基礎研究(国語)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「表現と学習材デザイン発展研究(国語)」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育支援者専門知デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育支援者専門知デザイン発展研究」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教師の成長・キャリアデザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。

- ・学生の履修機会の確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教師教育プラクティカム基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「実習指導・授業研究デザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「知的障害指導法特講」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学校心理学」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習支援論」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「心理教育的アセスメント演習」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学校カウンセリング論演習」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「生涯キャリア形成支援論」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「知識構成論」の配当年次を「1④」から「1①」に変更。

<プログラム専門科目：教育学プログラム>

- ・教員の見直しにより、「教育哲学特講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の見直しにより、「教育哲学特講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「西洋教育史特講Ⅰ」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会教育学特講Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育社会学演習Ⅰ」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「社会教育学演習Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学演習Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育行財政学演習Ⅱ」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育学演習Ⅰ」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎論Ⅰ（理論・手法）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎論Ⅱ（制度・政策）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授0」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「Comparative Studies in Higher Education」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「大学教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の就任辞退及び授業科目の充実のため、「Higher Education in Japan」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Development of Higher Education」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の見直しにより、「高等教育基礎演習Ⅰ（実践研究）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。

<プログラム専門科目：日本語教育学プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育研究方法論」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育学研究プロジェクト」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法特講」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「年少者日本語教育特講」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「対照言語学特講」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「年少者日本語教育演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国内日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「海外日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。

<プログラム専門科目：国際教育開発プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため、「教育基礎論」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育人材開発論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「ノンフォーマル教育論」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「理科教育開発論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「科学教育開発基礎論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「数学教育開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「高等教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際教育協力実践研究」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「基礎教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教科教育授業論」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「途上国の比較教育学」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「インクルーシブ教育論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育開発フィールドワーク論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地域カリキュラム開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅰ」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅱ」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語教育論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語文化論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅰ」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅱ」を新規科目として開講。
- ・広島大学とJICAの連携協定による特別教育プログラム「ザンビア特別教育プログラム」を実施することに伴い、次の科目を教育課程に位置付け、新規科目として開講。
「インターンシップ」、「フィールドワーク」
- ・誤記入のため、「認可時又は届出時」の准教授の小計を「13」から「6」に変更。

<特別研究>

- ・授業科目の充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授2②」から「教授2⑥」、「准教授1⑨」から「准教授2⑦」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。

【令和3年度】

<大学院共通科目>

- ・学生の履修機会の確保及び授業科目の充実のため、「Hiroshimaから世界平和を考える」の配当年次を「1・2①②④」から「1・2②③④」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・教員の退職及び教員の見直しにより、「Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの学問的アプローチA」の配当年次を「1・2①」から「1・2①②」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「SDGsへの学問的アプローチB」の配当年次を「1・2③」から「1・2③④」に、教員の見直しにより、専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsへの実践的アプローチ」の配当年次を「1・2②」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「ダイバーシティの理解」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「データリテラシー」の配当年次を「1・2①②」から「1・2①②③④」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・教員の見直しにより、「医療情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「人文社会系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②③」から「1・2②前・後」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「理工系キャリアマネジメント」の配当年次を「1・2②」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び授業科目の充実のため、「ストレスマネジメント」の配当年次を「1・2②④」から「1・2④前」に、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「情報セキュリティ」の配当年次を「1・2①」から「1・2前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「MOT入門」の配当年次を「1・2①③」から「1・2①前・後」に変更。

<研究科共通科目>

- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」, 「兼任・兼任42」から「兼任・兼任49」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「人間社会科学のための科学史」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」, 「准教授2」から「准教授3」, 「兼任・兼任43」から「兼任・兼任50」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「異分野協働プロジェクト」の配当年次を「1・2①」から「1・2後」に変更。
- ・授業科目の名称を「国際標準化論」から「ルール形成のための国際標準化」に変更。
- ・人間社会科学研究科の設置が認められたのちに、広島大学・グライツ大学国際連携サステナビリティ学専攻の設置（令和2年10月開設）が認められたことを受け、また、研究科共通科目の英語科目を充実させるため、次の授業科目を新設。
「データビジュアライゼーションA」「データビジュアライゼーションB」「環境原論A」「環境原論B」

<専攻共通科目>

- ・授業科目の充実のため、「教育科学のための研究法と倫理」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授19」, 「准教授1」から「准教授14」, 「講師0」から「講師3」, 「助教0」から「助教1」, 「兼任・兼任0」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「教育科学と社会」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授23」, 「准教授2」から「准教授11」, 「講師0」から「講師4」, 「助教0」から「助教1」, 「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「Religious culture in public education」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。

<プログラム専門科目：教師教育デザイン学プログラム>

- ・授業科目の充実のため、「カリキュラム開発特別研究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「特別支援教育学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究（技術・工業）A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「技術・情報教育学特別研究（情報）A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「社会認識教育学特別研究（社会・地理歴史）B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の就任に伴い、「国語文化教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「健康スポーツ教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・教員の昇任により、「人間生活教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」, 「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び授業科目の充実のため、「音楽教育学特別研究B」の配当年次を「1~2」から「1~2②③④」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「造形芸術教育学特別研究A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教室環境デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン基礎研究b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン基礎研究c」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会の確保のため、「人間関係（コミュニケーション）デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「学習開発学発展研究」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①③前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「教科課程デザイン発展研究a」の配当年次を「1③」から「1③④後」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び授業科目の充実のため、「学力・コンピテンシーデザイン基礎研究」の配当年次を「1①又は②」から「1②」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び授業科目の充実のため、「学力・コンピテンシーデザイン発展研究」の配当年次を「1③又は④」から「1④」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

- ・授業科目の充実のため、「カリキュラムデザイン史基礎研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「カリキュラムデザイン史発展研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「子どもと学習材デザイン基礎研究a」の配当年次を「1①」から「1①②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「子どもと学習材デザイン基礎研究c」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会のため及び授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会のため及び授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報)」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会のため及び授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会のため及び授業科目の充実のため、「ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため及び教員の見直しにより、「創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽)」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため及び教員の見直しにより、「創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(英語)」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(英語)」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。

- ・学生の履修機会を確保のため、「地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語)」の配当年次を「1②」から「1前」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「表象・文化と学習材デザイン基礎研究(美術)」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「表象・文化と学習材デザイン発展研究(美術)」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会を確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン基礎研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)a」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「こころ・身体と学習材デザイン発展研究(健康スポーツ)b」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科)b」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教員の昇任により、「生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「表現と学習材デザイン基礎研究(国語)」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「表現と学習材デザイン発展研究(国語)」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育支援者専門知デザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育支援者専門知デザイン発展研究」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教師の成長・キャリアデザイン基礎研究」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教師教育プラクティカム基礎研究」の配当年次を「1①」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教師教育プラクティカム発展研究」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「実習指導・授業研究デザイン発展研究」の配当年次を「1④」から「1後」に変更。
- ・教員の就任により、「聴覚障害指導法特論」の専任教員等の配置を准教授1から准教授2に変更。
- ・教員の就任により、「聴覚障害学演習」の専任教員等の配置を准教授1から准教授2に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「学校心理学」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「学習支援論」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「心理教育的アセスメント演習」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「学校カウンセリング論演習」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「生涯キャリア形成支援論」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「知識構成論」の配当年次を「1④」から「1①」に変更。

<プログラム専門科目：教育学プログラム>

- ・教員の見直しにより、「教育哲学特講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教員の就任により、「教育哲学特講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「西洋教育史特講Ⅱ」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「教育社会学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1①」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「教育社会学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「社会学特講Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「社会学特講Ⅱ」の配当年次を「1②」から「1前」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育行財政学特講Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育行財政学特講Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1②」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育社会学演習Ⅰ」の配当年次を「1④」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育社会学演習Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「社会学演習Ⅰ」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため及び教員の就任により、「社会学演習Ⅱ」の配当年次を「1③」から「1後」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育行財政学演習Ⅰ」の配当年次を「1②」から「1③」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「教育行財政学演習Ⅱ」の配当年次を「1②」から「1④」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「幼児教育学演習Ⅰ」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。

- ・教員の就任辞退及び教員の就任により、「高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」、「准教授3」から「准教授1」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の就任により、「高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策)」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授3」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の就任辞退により、「大学教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の就任により、「学生論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。担当教員選考中。
- ・教員の就任により、「Advanced Statistics」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。担当教員選考中。
- ・教員の就任辞退のため、「Higher Education in Japan」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「Development of Higher Education」の配当年次を「1・2前」から「1・2②」に変更。
- ・教員の就任辞退及び教員の就任により、「高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」、「准教授3」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。

<プログラム専門科目：日本語教育学プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育研究方法論」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本語教育学研究プロジェクト」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「日本語教育学特講」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法特講」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「年少者日本語教育特講」の配当年次を「1・2③」から「1・2前」に専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「対照言語学特講」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本近代文学特講」の配当年次を「1・2③」から「1・2後」に専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「日本語教育学演習」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任により、「日本語教育評価法演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「年少者日本語教育演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため及び教員の昇任により、「日本近代文学演習」の配当年次を「1・2④」から「1・2後」に専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国内日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2①②」から「1・2前」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「海外日本語教育実践研究」の配当年次を「1・2③④」から「1・2後」に、教員の昇任により、専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「准教授2」から「准教授1」に変更。

<プログラム専門科目：国際教育開発プログラム>

- ・学生の履修機会の確保のため、「教育基礎論」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「教育基礎論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育人材開発論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・授業科目の充実のため、「教育人材開発論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「ノンフォーマル教育論」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「理科教育開発論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「科学教育開発基礎論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。それに合わせ、配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「数学教育開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「高等教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、「教育協力実践基礎論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「国際教育協力実践研究」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「基礎教育開発論」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教科教育授業論」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「途上国の比較教育学」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「インクルーシブ教育論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「教育開発フィールドワーク論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「地域カリキュラム開発論」の配当年次を「1・2③」から「1・2②」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅰ」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「幼児教育・保育開発論Ⅱ」の配当年次を「1・2④」から「1・2③」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語教育論」を新規科目として開講。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「民族言語文化論」を新規科目として開講、配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅰ」を新規科目として開講、配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・教員の就任及び授業科目の充実のため、「教育開発計画論Ⅱ」を新規科目として開講。
- ・広島大学とJICAの連携協定による特別教育プログラム「ザンビア特別教育プログラム」を実施することに伴い、次の科目を教育課程に位置付け、新規科目として開講。
「インターンシップ」、「フィールドワーク」

<特別研究>

- ・授業科目の充実のため、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授25」、「准教授19」から「准教授20」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	306 科目	2 科目	309 科目	1 科目 [0]	321 科目 [15]	2 科目 [0]	324 科目 [15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{309} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡			
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡			
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡			
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡			
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		516,466㎡ (516,466㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	516,466㎡ (516,466㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	104室	160室	294室	5室 (補助職員 14人)	7室 (補助職員 18人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間社会科学研究科教育科学専攻(博士課程前期)			138 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	人間社会科学研究科教育科学専攻(博士課程前期)	3,460,673 [1,290,310] (3,460,673 [1,290,310])	59,366 [24,323] (59,366 [24,323])	5,723 [5,717] (5,723 [5,717])	5,034 (5,034)	14,306 (14,306)	133 (133)	
	計	3,460,673 [1,290,310] (3,460,673 [1,290,310])	59,366 [24,323] (59,366 [24,323])	5,723 [5,717] (5,723 [5,717])	5,034 (5,034)	14,306 (14,306)	133 (133)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	26,967㎡		2,369席		3,022,083冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学						学生募集停止学科数	78	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	640	—	1.06	1.06	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	480	学士(総合科学)	1.05	1.05	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	
国際共創学科	4	40	—	160	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	540	—	1.05	1.05	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	540	学士(文学)	1.05	1.05	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
教育学部	4	445	—	1,780	—	1.02	1.02	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	628	学士(教育学)	1.01	1.01	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	328	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	292	学士(教育学)	1.02	1.01	平成30	平成12	同上	
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	324	学士(教育学)	1.03	1.02	平成30	平成12	同上	
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	208	学士(心理学)	1.05	1.03	平成30	平成12	同上	
法学部	4	170	3年次20	720	—	1.05	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.04	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	140	学士(法学)	1.07	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	
経済学部	4	195	3年次10	800	—	1.04	1.00	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	45	3年次5	190	学士(経済学)	1.01	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.04	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47		188	学士(理学)	1.03	1.00	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66		264	学士(理学)	1.03	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59		236	学士(理学)	1.04	1.05	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34		136	学士(理学)	1.06	1.08	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24		96	学士(理学)	1.04	1.00	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	716	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.05	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	716	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.06	—	平成4	同上	
理学療法専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.06	—	平成4	同上	
作業療法専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.00	—	平成21	—	
歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.00	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	

薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.04	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区段一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.04	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,810	—	1.03	1.03	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	1.03	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.05	1.04	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	468	学士(工学)	1.00	1.02	平成30	平成13	同上	
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.06	1.03	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.08	1.04	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.08	1.04	—	昭和54	広島県東広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	330	—	1.07	1.05	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	330	学士(情報科学)	1.07	1.05	—	平成30	広島県東広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	—	2,336	80	9,930	—	—	—	—	—	—	
人間社会科学部	前期2	420	—	840	—	0.86	0.69	—	令和2	—	
	後期3	135	—	270	—	0.82	0.70	—	令和2	—	
	専2	30	—	60	—	0.88	0.96	—	令和2	—	
	専3	20	—	40	—	0.82	0.75	—	令和2	—	
	修2	2	—	2	—	1.00	—	—	令和2	—	
人文社会科学専攻(博士課程)	前期2	257	—	514	修士(文学) 修士(心理学) 修士(法学) 修士(経済学) 修士(経営学) 修士(マネジメント) 修士(国際協力学) 修士(学術)	0.75	0.54	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
	後期3	85	—	170	博士(文学) 博士(心理学) 博士(法学) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(マネジメント) 博士(国際協力学) 博士(学術)	0.65	0.54	—	令和2		
教育科学専攻(博士課程)	前期2	163	—	326	修士(教育学) 修士(教育心理学) 修士(国際協力学) 修士(学術)	1.02	0.91	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
	後期3	50	—	100	博士(教育学) 博士(教育心理学) 博士(国際協力学) 博士(学術)	1.12	0.98	—	令和2		
教職開発専攻(専門職学位課程)	専2	30	—	60	教職修士(専門職)	0.88	0.96	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
実務法学専攻(専門職学位課程)	専3	20	—	40	法務修士(専門職)	0.82	0.75	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番10号	
広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻(修士課程)	修2	2	—	2	修士(学術)	1.00	—	—	令和2	広島県東広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月

先進理工系科学研究科	前期2	449	—	898	—	1.12	1.09	—	令和2	—	
	後期3	128	—	256	—	0.66	0.50	—	令和2	—	
	修2	2	—	2	—	1.00	—	—	令和2	—	
先進理工系科学専攻 (博士課程)	前期2	449	—	898	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力)	1.12	1.09	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目4番1号	
	後期3	128	—	256	修士(学術) 博士(理学) 博士(工学) 博士(情報科学) 博士(国際協力) 博士(学術)	0.66	0.50	—	令和2		
広島大学・ライブ ツィヒ大学国際連携サ ステイナビリティ学専 攻 (修士課程)	修2	2	—	2	修士(学術)	1.00	—	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.95	0.94	—	平成31	—	
	後期3	70	—	210	—	0.46	0.40	—	平成31	—	
統合生命科学専攻 (博士課程)	前期2	170	—	340	修士(理学) 修士(工学) 修士(農学) 修士(学術)	0.95	0.94	—	平成31	広島県広島市鏡山1丁目4番4号 広島県広島市鏡山1丁目3番1号 広島県広島市鏡山1丁目7番1号	
	後期3	70	—	210	博士(理学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	0.46	0.40	—	平成31		
医系科学研究科	博4	97	—	291	—	1.09	1.04	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.98	1.02	—	平成31	—	
	後期3	25	—	75	—	1.09	1.32	—	平成31	—	
医歯薬学専攻 (博士課程)	博4	97	—	291	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.09	1.04	—	平成31	広島県広島市南区院一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学)	0.98	1.02	—	平成31	広島県広島市南区院一丁目2番3号	
	後期3	25	—	75	修士(学術) 博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	1.09	1.32	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
人文学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
学習開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止

日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県東広島市鶴山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12		令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県東広島市鶴山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
数理分子生命学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	広島県東広島市鶴山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	—	—	—	平成24	広島県広島市南區段一丁目3番3号	平成31年度学生募集停止
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学) 修士(保健学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(看護学) 博士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止

工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	広島県東広島市鞆山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
機械物理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(学術)								
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成18	—	広島県東広島市鞆山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)								
					博士(学術)								
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成18	同上	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)								
					博士(学術)								
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成11	同上	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成11	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)								
					博士(学術)								
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	—	平成14	—	広島県広島市南区院一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)								
					博士(医薬学)								
					博士(学術)								
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成6	—	広島県東広島市鞆山一丁目5番4号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成6	—	—	令和2年度学生募集停止
					修士(農学)								
					博士(学術)								
					博士(工学)								
					博士(農学)								
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成7	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	—	平成7	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(学術)								
					博士(教育学)								
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	—	平成16	—	広島県広島市中区安土町一丁目1番8号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	—	1,624	—	3,436	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大学の名称	〇〇短期大学					学生募集停止学科数			平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数				備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍	倍						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間社会科学研究科 教育科学専攻（博士課程前期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 理科教育開発論 科学教育開発基礎論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 教育統計概論 特別研究
		馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 数学教育開発論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 特別研究
		石田 洋子 <令和2年4月> 博士(国際協力学)
専	教授	SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学と社会※ 教育協力事業評価論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 理科教育開発論 科学教育開発基礎論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 教育統計概論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 数学教育開発論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		石田 洋子 <令和2年4月> 博士(国際協力学)
専	教授	SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学と社会※ 教育協力事業評価論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 欽也 <令和2年4月> P h . D . (米国)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ 人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 理科教育開発論 科学教育開発基礎論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ 教育統計概論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
専	教授	馬場 卓也 <令和2年4月> 博士(教育学)
		Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学のための研究法と倫理※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 数学教育開発論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 教科教育授業論※ インターンシップ フィールドワーク 特別研究
		石田 洋子 <令和2年4月> 博士(国際協力学)
専	教授	SDGsへの学問的アプローチA※ 教育科学と社会※ 教育協力事業評価論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 良太 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 異分野協働プロジェクト 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 社会言語学特講 社会言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	小山 正孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 数学教育学特別研究B 教科課程デザイン基礎研究c
専	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 教育社会学特講Ⅰ 教育社会学特講Ⅱ 教育社会学演習Ⅰ 教育社会学演習Ⅱ 教育調査統計学演習 特別研究
専	教授	松見 法男 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 言語教育心理学特講 言語教育心理学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 良太 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 教育学と社会※ 異分野協働プロジェクト 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 社会言語学特講 社会言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	小山 正孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 数学教育学特別研究B 教科課程デザイン基礎研究c
専	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 教育社会学特講Ⅰ 教育社会学特講Ⅱ 教育社会学演習Ⅰ 教育社会学演習Ⅱ 教育調査統計学演習 特別研究
専	教授	松見 法男 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 言語教育心理学特講 言語教育心理学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田 良太 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		SDGsへの学問的アプローチA※ 教育学と社会※ 異分野協働プロジェクト 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 社会言語学特講 社会言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	小山 正孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 数学教育学特別研究B 教科課程デザイン基礎研究c
専	教授	山田 浩之 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 教育社会学演習Ⅰ 教育社会学演習Ⅱ 教育調査統計学演習 特別研究
専	教授	松見 法男 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 言語教育心理学特講 言語教育心理学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語表現法特講 日本語表現法演習 特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		日本の教育開発経験※ 健康スポーツ教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究 教師教育プラクティカム発展研究 スポーツ教育開発論 特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 Ph. D(米国)
		日本の教育開発経験※ Development of Higher Education 高等教育開発論 特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン基礎研究 心理教育的アセスメント演習 学校カウンセリング論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語表現法特講 日本語表現法演習 特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ 健康スポーツ教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究 教師教育プラクティカム発展研究 スポーツ教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 博士(学術) (米国)
		日本の教育開発経験※ Development of Higher Education 高等教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		人間社会科学特別講義※ 学習開発学特別研究 教室環境デザイン基礎研究 心理教育的アセスメント演習 学校カウンセリング論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳澤 浩哉 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語表現法特講 日本語表現法演習 特別研究
専	教授	草原 和博 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※ 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン基礎研究 教職課程・現職研修カリキュラムデザイン発展研究
専	教授	齊藤 一彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ 健康スポーツ教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究 教師教育プラクティカム発展研究 スポーツ教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	堀田 泰司 〈令和2年4月〉 博士(学術) (米国)
		日本の教育開発経験※ Development of Higher Education 高等教育開発論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	栗原 慎二 〈令和2年4月〉 博士(学校教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン基礎研究 心理教育的アセスメント演習 学校カウンセリング論演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学 生涯キャリア形成支援論
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学発展研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	権藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学発展研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学 生涯キャリア形成支援論
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学発展研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	権藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		教育学のための研究法と倫理 ※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学発展研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	児玉 真樹子 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学 生涯キャリア形成支援論
専	教授	山内 規嗣 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学発展研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎研究 教育支援者専門知デザイン発展研究 学校心理学
専	教授	木原 成一郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	木村 博一 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	権藤 敦子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 教科課程デザイン基礎研究 a 教科課程デザイン発展研究 a
専	教授	中村 和世 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum & Instruction) (米国)
		教育学のための研究法と倫理 ※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学発展研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育学特論 特別支援教育実践研究 コミュニケーション障害指導法特論 インクルーシブ教育論 特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論 知的障害学演習 知的障害心理学特論
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a 科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a 環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育学特論 特別支援教育実践研究 コミュニケーション障害指導法特論 インクルーシブ教育論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論 知的障害学演習 知的障害心理学特論
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a 科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a 環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川合 紀宗 〈令和2年4月〉 Ph. D. (Speech-Language Pathology) (米国)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育学特論 特別支援教育実践研究 コミュニケーション障害指導法特論 インクルーシブ教育論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	若松 昭彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論 知的障害学演習 知的障害心理学特論
専	教授	古賀 信吉 〈令和2年4月〉 Candidatus Scientiarum
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科)a STEMと学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	竹下 俊治 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(理科)a 科学・文化と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	山崎 博史 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(理科)a 環境・社会と学習材デザイン発展研究(理科)a
専	教授	磯崎 哲夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池畠 良 〈令和2年4月〉 理学博士 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a
		下村 哲 〈令和2年4月〉 博士(学術) 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士 数学教育学特別研究A STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)
		田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業)
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A ICT空間デザイン基礎研究 ICT空間デザイン発展研究
		藤中 透 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A STEMと学習材デザイン基礎研究(情報) STEMと学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池畠 良 〈令和2年4月〉 理学博士 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a
		下村 哲 〈令和2年4月〉 博士(学術) 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士 数学教育学特別研究A STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)
		田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A 技術・情報教育学特別研究(情報)A ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A ICT空間デザイン基礎研究 ICT空間デザイン発展研究 特別研究
		藤中 透 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A STEMと学習材デザイン基礎研究(情報) STEMと学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学のための研究法と倫理※ 技術・情報教育学特別研究(情報)B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	池畠 良 〈令和2年4月〉 理学博士 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)a
		下村 哲 〈令和2年4月〉 博士(学術) 数学教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(数学)b
専	教授	寺垣内 政一 〈令和2年4月〉 学術博士 数学教育学特別研究A STEMと学習材デザイン基礎研究(数学)
		田中 秀幸 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A 技術・情報教育学特別研究(情報)A ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	渡辺 健次 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A ICT空間デザイン基礎研究 ICT空間デザイン発展研究 特別研究
		藤中 透 〈令和2年4月〉 博士(工学) 技術・情報教育学特別研究(情報)A STEMと学習材デザイン基礎研究(情報) STEMと学習材デザイン発展研究(情報)
専	教授	長松 正康 〈令和2年4月〉 博士(工学) 教育科学のための研究法と倫理※ 技術・情報教育学特別研究(情報)B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		畠中 和生 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) A 社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
		佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究 A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究 A 表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 国語文化教育学特別研究 B 学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン発展研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 国語文化教育学特別研究 B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		畠中 和生 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) A 社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
		佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン発展研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	由井 義通 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史) A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
		畠中 和生 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) A 社会・生活と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 社会・生活と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	教授	棚橋 健治 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民) B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
		佐々木 勇 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 地域・歴史と学習材デザイン基礎研究(国語) 地域・歴史と学習材デザイン発展研究(国語)
専	教授	佐藤 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学) 教育学と社会※ 国語文化教育学特別研究 A 表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 表現と学習材デザイン発展研究(国語)
		間瀬 茂夫 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 学力・コンピテンシーデザイン基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン発展研究
専	教授	山元 隆春 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育学のための研究法と倫理※ 国語文化教育学特別研究 B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(英語)
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		英語教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究a 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究a
専	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)b こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)b
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		人間生活教育学特別研究A 社会・生活と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 社会・生活と学習材デザイン発 展研究(家庭)
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		教育学と社会※ 英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(英語)
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究a 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究a
専	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		人間社会科学のための科学史※ 健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)b こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)b
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		教育学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 社会・生活と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 社会・生活と学習材デザイン発 展研究(家庭)
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		教育学と社会※ 人間生活教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小野 章 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		教育学と社会※ 英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(英語)
専	教授	松浦 伸和 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	教授	上田 毅 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究a 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究a
専	教授	沖原 謙 〈令和2年4月〉 理学修士
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	教授	出口 達也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)b こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)b
専	教授	今川 真治 〈令和2年4月〉 博士(人間科学)
		教育学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 社会・生活と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 社会・生活と学習材デザイン発 展研究(家庭)
専	教授	村上 かおり 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		教育学と社会※ 人間生活教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(家庭) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間生活教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		音楽教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(音楽) 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		音楽教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽) 表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)
専	教授	一鍛田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (美術) 表現と学習材デザイン発展研究 (美術)
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(美術) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(美術)
専	教授	内田 雅三 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(美術) こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(美術)
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 P.h. D.(学術博士) (米国)
		教育哲学特講 I 教育哲学特講 II 教育哲学演習 I 教育哲学演習 II 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 人間生活教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育学と社会※ 音楽教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(音楽) 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理 ※ 音楽教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽) 表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)
専	教授	一鍛田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士
		教育学のための研究法と倫理 ※ 造形芸術教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (美術) 表現と学習材デザイン発展研究 (美術)
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(美術) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(美術)
専	教授	内田 雅三 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(美術) こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(美術)
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 P.h. D.(学術博士) (米国)
		教育哲学演習 I 教育哲学演習 II 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 明子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 人間生活教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	教授	枝川 一也 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育学と社会※ 音楽教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(音楽) 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	教授	高旗 健次 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理 ※ 音楽教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (音楽) 表現と学習材デザイン発展研究 (音楽)
専	教授	一鍛田 徹 〈令和2年4月〉 教育学修士
		教育学のための研究法と倫理 ※ 造形芸術教育学特別研究A 表現と学習材デザイン基礎研究 (美術) 表現と学習材デザイン発展研究 (美術)
専	教授	井戸川 豊 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		造形芸術教育学特別研究A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(美術) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(美術)
専	教授	内田 雅三 〈令和2年4月〉 芸術学修士
		教育学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(美術) こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(美術)
専	教授	丸山 恭司 〈令和2年4月〉 P.h. D.(学術博士) (米国)
		教育哲学演習 I 教育哲学演習 II 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 理恵 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		日本東洋教育史特講Ⅰ 日本東洋教育史特講Ⅱ 日本東洋教育史演習Ⅰ 日本東洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	教授	小川 佳万 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		比較国際教育学特講Ⅰ 比較国際教育学特講Ⅱ 比較国際教育学演習Ⅰ 比較国際教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育経営学特講Ⅰ 教育経営学特講Ⅱ 教育経営学演習Ⅰ 教育経営学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	七木田 敦 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		幼児教育学特講Ⅱ 幼児教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	黄 福涛 ＜令和2年4月＞ 教育学博士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学カリキュラム開発論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	教授	大膳 司 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育アドミッション論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 理恵 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本東洋教育史特講Ⅰ 日本東洋教育史特講Ⅱ 日本東洋教育史演習Ⅰ 日本東洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	教授	小川 佳万 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 比較国際教育学特講Ⅰ 比較国際教育学特講Ⅱ 比較国際教育学演習Ⅰ 比較国際教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育経営学特講Ⅰ 教育経営学特講Ⅱ 教育経営学演習Ⅰ 教育経営学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	七木田 敦 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 幼児教育学特講Ⅱ 幼児教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	黄 福涛 ＜令和2年4月＞ 教育学博士
		教育科学と社会※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学カリキュラム開発論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	教授	大膳 司 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育アドミッション論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 理恵 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本東洋教育史特講Ⅰ 日本東洋教育史特講Ⅱ 日本東洋教育史演習Ⅰ 日本東洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	教授	小川 佳万 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 比較国際教育学特講Ⅰ 比較国際教育学特講Ⅱ 比較国際教育学演習Ⅰ 比較国際教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	曾余田 浩史 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育経営学特講Ⅰ 教育経営学特講Ⅱ 教育経営学演習Ⅰ 教育経営学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	七木田 敦 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 幼児教育学特講Ⅱ 幼児教育学演習Ⅱ 特別研究
専	教授	黄 福涛 ＜令和2年4月＞ 教育学博士
		教育科学と社会※ 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 大学カリキュラム開発論 Higher Education in Japan 特別研究
専	教授	大膳 司 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育アドミッション論 Higher Education in Japan 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤村 正司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育目標論
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語構造論特講 日本語構造論演習 特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 対照言語学特講 対照言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本近代文学特講 日本近代文学演習 特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語習得論特講 日本語習得論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤村 正司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) 高等教育目標論 特別研究
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語構造論特講 日本語構造論演習 特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 対照言語学特講 対照言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	西原 大輔 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本近代文学特講 日本近代文学演習 特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語習得論特講 日本語習得論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤村 正司 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育学と社会※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育目標論 特別研究
専	教授	白川 博之 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語構造論特講 日本語構造論演習 特別研究
専	教授	仁科 陽江 〈令和2年4月〉 博士(言語学)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 対照言語学特講 対照言語学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	教授	畑佐 由紀子 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy in Linguistics (米国)
		教育学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語習得論特講 日本語習得論演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 和浩 ＜令和2年4月＞ MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		国際教育協力論 特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 ＜令和2年4月＞ 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※ 基礎教育開発論 特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教科教育授業論※ 平和社会のための教育 教育開発フィールドワーク論 地域カリキュラム開発論 グローバルシティズンシップ教育論 特別研究
専	准教授	牧 貴愛 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教育基礎論 教育人材開発論 教育開発フィールドワーク論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 和浩 ＜令和2年4月＞ MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		国際教育協力論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	佐藤 暢治 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		民族言語教育論 民族言語文化論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 ＜令和2年4月＞ 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※ 基礎教育開発論 特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教科教育授業論※ 平和社会のための教育 教育開発フィールドワーク論 地域カリキュラム開発論 グローバルシティズンシップ教育論 特別研究
専	准教授	牧 貴愛 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教育基礎論 教育人材開発論 教育開発フィールドワーク論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 和浩 ＜令和2年4月＞ MASTER of PHILOSOPHY (英国)
		国際教育協力論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	教授	佐藤 暢治 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		民族言語教育論 民族言語文化論 インターンシップ フィールドワーク 特別研究
専	准教授	(ヘイズ) 櫻井 里穂 ＜令和2年4月＞ 博士(教育理論政策学) (米国)
		ダイバーシティの理解※ 基礎教育開発論 特別研究
専	准教授	中矢(諏訪) 礼美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教科教育授業論※ 平和社会のための教育 教育開発フィールドワーク論 地域カリキュラム開発論 グローバルシティズンシップ教育論 特別研究
専	准教授	牧 貴愛 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学と社会※ 日本の教育開発経験※ 教育基礎論 教育人材開発論 教育開発フィールドワーク論 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ ノンフォーマル教育論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 幼児教育・保育開発論Ⅰ 幼児教育・保育開発論Ⅱ 特別研究
専	准教授	HOWELL PETER KENNETH 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Applied Linguistics) (スコットランド) Academic Writing for Graduate Students in Education
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン発展研究 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 学習支援論
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学基礎研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 知識構成論
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 教師の成長・キャリアデザイン 基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン 発展研究 学校心理学
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ ノンフォーマル教育論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 幼児教育・保育開発論Ⅰ 幼児教育・保育開発論Ⅱ 特別研究
専	准教授	HOWELL PETER KENNETH 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Applied Linguistics) (スコットランド) Academic Writing for Graduate Students in Education
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン発展研究 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 学習支援論
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学基礎研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 知識構成論 特別研究
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 教師の成長・キャリアデザイン 基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン 発展研究 学校心理学
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 千明 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 日本の教育開発経験※ ノンフォーマル教育論 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 幼児教育・保育開発論Ⅰ 幼児教育・保育開発論Ⅱ 特別研究
専	准教授	HOWELL PETER KENNETH 〈令和2年4月〉 Ph.D. (Applied Linguistics) (スコットランド) Academic Writing for Graduate Students in Education
専	准教授	深谷 達史 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 教室環境デザイン発展研究 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 学習支援論
専	准教授	藤木 大介 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		学習開発学特別研究 学習開発学基礎研究※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 知識構成論 特別研究
専	准教授	米沢 崇 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学習開発学特別研究 学習開発学特論※ 教育支援者専門知デザイン基礎 研究 教育支援者専門知デザイン発展 研究 教師の成長・キャリアデザイン 基礎研究 教師の成長・キャリアデザイン 発展研究 学校心理学
専	准教授	松宮(川合) 奈賀子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
専	准教授	竹林地 毅 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 知的障害指導法特論 特別支援教育ファシリテーション論
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害学演習 視覚障害心理学特論
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習 聴覚障害心理学特論
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) ^a 生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) ^a
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科) ^b STEMと学習材デザイン発展研究(理科) ^b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
専	准教授	竹林地 毅 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 知的障害指導法特論 特別支援教育ファシリテーション論
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害学演習 視覚障害心理学特論
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習 聴覚障害心理学特論
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) ^a 生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) ^a
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科) ^b STEMと学習材デザイン発展研究(理科) ^b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 巧 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ カリキュラム開発特別研究 学習開発学特論※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 ^a 子どもと学習材デザイン発展研究 ^a
専	准教授	竹林地 毅 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 知的障害指導法特論 特別支援教育ファシリテーション論
専	准教授	氏間 和仁 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害学演習 視覚障害心理学特論
専	准教授	林田 真志 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習 聴覚障害心理学特論
専	准教授	網本 貴一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(理科) ^a 生活・科学と学習材デザイン発展研究(理科) ^a
専	准教授	梅田 貴士 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A ラボラトリーラーニングデザイン研究(理科) STEMと学習材デザイン基礎研究(理科) ^b STEMと学習材デザイン発展研究(理科) ^b

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 生活・科学と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		数学教育学特別研究B 子どもと学習材デザイン基礎研 究c
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		教育科学と社会※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 生活・科学と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 教育科学と社会※ 自然システム教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 数学教育学特別研究B 子どもと学習材デザイン基礎研 究c
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富川 光 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	吉富 健一 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		教育科学と社会※ 自然システム教育学特別研究A フィールドラーニングデザイン 研究(理科) 生活・科学と学習材デザイン基 礎研究(理科)b 生活・科学と学習材デザイン発 展研究(理科)b
専	准教授	松浦 拓也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		自然システム教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	三好 美織 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 自然システム教育学特別研究B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	影山 和也 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 数学教育学特別研究B 子どもと学習材デザイン基礎研 究c
専	准教授	鈴木 裕之 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		教育科学と社会※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 科学・文化と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 科学・文化と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)
専	准教授	木村 彰孝 〈令和2年4月〉 博士(生物資源科学)
		教育科学のための研究法と倫理 ※ 技術・情報教育学特別研究(技 術・工業)A 環境・社会と学習材デザイン基 礎研究(技術・工業) 環境・社会と学習材デザイン発 展研究(技術・工業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)B 教科課程デザイン基礎研究b 教科課程デザイン発展研究b
		川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術) 技術・情報教育学特別研究(情報)A 子どもと学習材デザイン基礎研究b 子どもと学習材デザイン発展研究b ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
専	准教授	川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 社会認識教育学特別研究(社会・公民)B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究
専	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)B 教科課程デザイン基礎研究b 教科課程デザイン発展研究b
		川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A 技術・情報教育学特別研究(情報)A 子どもと学習材デザイン基礎研究b 子どもと学習材デザイン発展研究b ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
専	准教授	川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育科学のための研究法と倫理※ 社会認識教育学特別研究(社会・公民)B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	谷田 親彦 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)B 教科課程デザイン基礎研究b 教科課程デザイン発展研究b
		川田 和男 〈令和2年4月〉 博士(学術) 技術・情報教育学特別研究(技術・工業)A 技術・情報教育学特別研究(情報)A 子どもと学習材デザイン基礎研究b 子どもと学習材デザイン発展研究b ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン基礎研究(情報) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(技術・工業) ものづくり教育と学習材デザイン発展研究(情報)
専	准教授	熊原 康博 〈令和2年4月〉 博士(文学) 社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(社会・地理歴史) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(社会・地理歴史)
専	准教授	川口(前田) 広美 〈令和2年4月〉 博士(教育学) 教育科学のための研究法と倫理※ 社会認識教育学特別研究(社会・公民)B 比較カリキュラムデザイン基礎研究 比較カリキュラムデザイン発展研究
専	准教授	白田 理人 〈令和3年4月〉 博士(文学) 国語文化教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究(国語) 言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究(国語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(英語)
専	准教授	榎葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		英語教育学特別研究B 実習指導・授業研究デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究b 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究b
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究B 教師教育プラクティカム基礎研究 教師教育プラクティカム発展研究
専	准教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		人間生活教育学特別研究A 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭) 生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭) 創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(英語)
専	准教授	榎葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 実習指導・授業研究デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究b 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究b
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 健康スポーツ教育学特別研究B 教師教育プラクティカム基礎研究 教師教育プラクティカム発展研究
専	教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		人間社会科学のための科学史※ 教育科学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭) 生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭) 創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西原 貴之 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 英語教育学特別研究A 言語・コミュニケーション表現 と学習材デザイン基礎研究(英語)
専	准教授	榎葉 みつ子 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 英語教育学特別研究B 実習指導・授業研究デザイン基礎研究 実習指導・授業研究デザイン発展研究
専	准教授	黒坂 志穂 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		健康スポーツ教育学特別研究A こころ・身体と学習材デザイン 基礎研究(健康スポーツ)a こころ・身体と学習材デザイン 発展研究(健康スポーツ)a
専	准教授	小木曾 航平 〈令和2年4月〉 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション) デザイン基礎研究b 人間関係(コミュニケーション) デザイン発展研究b
専	准教授	岩田 昌太郎 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 健康スポーツ教育学特別研究B 教師教育プラクティカム基礎研究 教師教育プラクティカム発展研究
専	教授	松原 主典 〈令和2年4月〉 博士(農学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 人間生活教育学特別研究A 生活・科学と学習材デザイン基礎研究(家庭) 生活・科学と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	富永 美穂子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間生活教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(家庭) 創造性と学習材デザイン発展研究(家庭)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間生活教育学特別研究A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		音楽教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽) 創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		音楽教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		造形芸術教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(美術) 創造性と学習材デザイン発展研究(美術)
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間生活教育学特別研究A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 音楽教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽) 創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 音楽教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※ 教育科学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(美術) 創造性と学習材デザイン発展研究(美術)
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 宏 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		人間生活教育学特別研究A 環境・社会と学習材デザイン基礎研究(家庭) 環境・社会と学習材デザイン発展研究(家庭)
専	准教授	徳永 崇 〈令和2年4月〉 博士(音楽)
		教育科学と社会※ 音楽教育学特別研究A
専	准教授	伊藤 真 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 音楽教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	大野内 愛 〈令和3年4月〉 博士(教育学)
		音楽教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	八木 健太郎 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		教育科学と社会※ 造形芸術教育学特別研究A 創造性と学習材デザイン基礎研究(美術) 創造性と学習材デザイン発展研究(美術)
専	准教授	三根 和浪 〈令和2年4月〉 教育学修士
		造形芸術教育学特別研究B 指導・評価法デザイン基礎研究 指導・評価法デザイン発展研究
専	准教授	多田 羅 多起子 〈令和3年4月〉 博士(芸術学)
		教育科学と社会 造形芸術教育学特別研究A 表象・文化と学習材デザイン基礎研究(美術) 表象・文化と学習材デザイン発展研究(美術)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D(カナダ)
		造形芸術教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		西洋教育史特講Ⅰ 西洋教育史特講Ⅱ 西洋教育史演習Ⅰ 西洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	吉田 成章 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育方法学特講Ⅰ 教育方法学特講Ⅱ 教育方法学演習Ⅰ 教育方法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		社会教育学特講Ⅰ 社会教育学特講Ⅱ 社会教育学演習Ⅰ 社会教育学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育行財政学特講Ⅰ 教育行財政学特講Ⅱ 教育行財政学演習Ⅰ 教育行財政学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		幼児教育学特講Ⅰ 幼児教育学演習Ⅰ 教育学フィールドワーク演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D(カナダ)
		教育科学のための研究法と倫理※ 造形芸術教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 西洋教育史特講Ⅰ 西洋教育史特講Ⅱ 西洋教育史演習Ⅰ 西洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	吉田 成章 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育方法学特講Ⅰ 教育方法学特講Ⅱ 教育方法学演習Ⅰ 教育方法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 社会教育学特講Ⅰ 社会教育学特講Ⅱ 社会教育学演習Ⅰ 社会教育学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育行財政学特講Ⅰ 教育行財政学特講Ⅱ 教育行財政学演習Ⅰ 教育行財政学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 幼児教育学特講Ⅰ 幼児教育学演習Ⅰ 教育学フィールドワーク演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	蜂谷 昌之 〈令和2年4月〉 Ph. D(カナダ)
		教育科学のための研究法と倫理※ 造形芸術教育学特別研究B カリキュラムデザイン史基礎研究 カリキュラムデザイン史発展研究
専	准教授	三時 眞貴子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学と社会※ 西洋教育史特講Ⅰ 西洋教育史特講Ⅱ 西洋教育史演習Ⅰ 西洋教育史演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	吉田 成章 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育方法学特講Ⅰ 教育方法学特講Ⅱ 教育方法学演習Ⅰ 教育方法学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	久井 英輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
専	准教授	滝沢 潤 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 教育行財政学特講Ⅰ 教育行財政学特講Ⅱ 教育行財政学演習Ⅰ 教育行財政学演習Ⅱ 特別研究
専	准教授	中坪 史典 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 幼児教育学特講Ⅰ 幼児教育学演習Ⅰ 教育学フィールドワーク演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒松 直美 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (オーストラリア) 異文化間理解の社会理論と実践 特講 I 異文化間理解の社会理論と実践 特講 II 特別研究
		佐藤 (望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education) (英国) 高等教育基礎論 I (理論・手法) 高等教育基礎論 II (制度・政策) 大学教育論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究
専	准教授	村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士 (教育学) 高等教育基礎論 I (理論・手法) 高等教育基礎論 II (制度・政策) 高等教育評価論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究
		大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士 高等教育基礎論 I (理論・手法) 高等教育基礎論 II (制度・政策) 高等教育組織論・職員論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究
専	准教授	中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
		中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒松 直美 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (オーストラリア) 異文化間理解の社会理論と実践 特講 I 異文化間理解の社会理論と実践 特講 II 特別研究
		村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士 (教育学) 人間社会科学のための科学史※ 高等教育基礎論 I (理論・手法) 高等教育評価論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士 教育学のための研究法と倫理※ Comparative Studies in Higher Education 高等教育組織論・職員論 Higher Education in Japan 特別研究
		中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	恒松 直美 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (オーストラリア) 異文化間理解の社会理論と実践 特講 I 異文化間理解の社会理論と実践 特講 II 特別研究
		村澤 昌崇 〈令和2年4月〉 修士 (教育学) 人間社会科学のための科学史※ 高等教育基礎論 I (理論・手法) 高等教育評価論 Higher Education in Japan 高等教育基礎演習 I (実践研究) 特別研究
専	准教授	大場 淳 〈令和2年4月〉 法学士 教育学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論 II (制度・政策) 高等教育組織論・職員論 Higher Education in Japan 特別研究
		中山 亜紀子 〈令和2年4月〉 博士 (文学) 教育学と社会※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 異文化間教育学特講 異文化間教育学演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 文化社会学特講 文化社会学演習 特別研究
専	准教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語教育評価法特講 日本語教育評価法演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		年少者日本語教育特講 年少者日本語教育演習 特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		途上国の比較教育学 教育開発フィールドワーク論 特別研究
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 a 子どもと学習材デザイン発展研究 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 文化社会学特講 文化社会学演習 特別研究
専	教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語教育評価法特講 日本語教育評価法演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	櫻井 千穂 〈令和2年4月〉 博士(言語文化学)
		教育科学と社会※ 年少者日本語教育特講 年少者日本語教育演習 特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		途上国の比較教育学 教育開発フィールドワーク論 特別研究
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 a 子どもと学習材デザイン発展研究 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西村 大志 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 文化社会学特講 文化社会学演習 特別研究
専	教授	渡部 倫子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 日本語教育研究方法論※ 日本語教育学研究プロジェクト 日本語教育評価法特講 日本語教育評価法演習 国内日本語教育実践研究 海外日本語教育実践研究 特別研究
専	准教授	小口 悠紀子 〈令和3年4月〉 博士(教育学)
		日本語教育学特講 日本語教育学演習 特別研究
専	准教授	日下部 達哉 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		途上国の比較教育学 教育開発フィールドワーク論 特別研究
専	准教授	真野 祐輔 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		カリキュラム開発特別研究 学習開発学基礎研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 a 子どもと学習材デザイン発展研究 a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 隆央 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)
		日本の教育開発経験※ 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 国際教育協力実践研究 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 隆央 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)
		日本の教育開発経験※ 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 国際教育協力実践研究 特別研究
専	准教授	谷口 京子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		教育開発計画論Ⅰ 教育開発計画論Ⅱ 特別研究
専	准教授	杉田 浩崇 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育哲学特講Ⅰ 教育哲学特講Ⅱ 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 隆央 ＜令和2年4月＞ 修士(経済学)
		日本の教育開発経験※ 教育協力実践基礎論Ⅰ※ 教育協力実践基礎論Ⅱ※ 国際教育協力実践研究 特別研究
専	准教授	谷口 京子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		教育開発計画論Ⅰ 教育開発計画論Ⅱ 特別研究
専	准教授	杉田 浩崇 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学のための研究法と倫理※ 教育哲学特講Ⅰ 教育哲学特講Ⅱ 特別研究
専	准教授	尾川 満宏 ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		教育科学と社会 教育社会学特講Ⅰ 教育社会学特講Ⅱ 特別研究
専	准教授	金 鐘成 ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		社会認識教育学特別研究(社会・地理歴史)B 学力・コンピテンシーデザイン 基礎研究 学力・コンピテンシーデザイン 発展研究
専	准教授	柳岡 拓磨 ＜令和3年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		健康スポーツ教育学特別研究A 人間関係(コミュニケーション)デザイン基礎研究○ 人間関係(コミュニケーション)デザイン発展研究○
専	准教授	新海 晃 ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		特別支援教育学特別研究 聴覚障害指導法特論 聴覚障害学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph.D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※ Religious culture in public education
専	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum and Instruction) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士(人間環境学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 重複障害指導法特論 肢体不自由指導法特論 肢体不自由心理学特論 病弱教育特論 病弱生理・病理特論
専	講師	森(大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害指導法特論 視覚障害学演習
専	講師	北臺 如法 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		数学教育学特別研究A ICT空間デザイン基礎研究
専	講師	畑 浩人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	講師	森田 英樹 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph.D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※ 教育学と社会※ Religious culture in public education
専	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum and Instruction) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士(人間環境学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 重複障害指導法特論 肢体不自由指導法特論 肢体不自由心理学特論 病弱教育特論 病弱生理・病理特論
専	講師	森(大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		教育学と社会※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害指導法特論 視覚障害学演習
専	講師	北臺 如法 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		教育学と社会※ 数学教育学特別研究A ICT空間デザイン基礎研究
専	講師	畑 浩人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	講師	森田 英樹 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DELAKORDA KAWASHIMA TINKA 〈令和2年4月〉 Ph.D (Sociology) (スロベニア)
		人間社会科学特別講義※ 教育学と社会※ Religious culture in public education
専	講師	WALTER BRETT RAYMOND 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Curriculum and Instruction) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 教育学のための研究法と倫理※ Sheltered Instruction: Making Content Comprehensible
専	講師	船橋 篤彦 〈令和2年4月〉 修士(人間環境学)
		特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 重複障害指導法特論 肢体不自由指導法特論 肢体不自由心理学特論 病弱教育特論 病弱生理・病理特論
専	講師	森(大財) まゆ 〈令和2年4月〉 博士(障害科学)
		教育学と社会※ 特別支援教育学特別研究 学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 視覚障害指導法特論 視覚障害学演習
専	講師	北臺 如法 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		教育学と社会※ 数学教育学特別研究A ICT空間デザイン基礎研究
専	講師	畑 浩人 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 科学・文化と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 科学・文化と学習材デザイン発展研究(社会・公民)
専	講師	森田 英樹 〈令和2年4月〉 修士(経済学)
		社会認識教育学特別研究(社会・公民)A 創造性と学習材デザイン基礎研究(社会・公民) 創造性と学習材デザイン発展研究(社会・公民)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON ＜令和2年4月＞ Ph. D (Education) (韓国)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 高等教育基礎論Ⅱ(制度・政策) Comparative Studies in Higher Education Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
専	助教	村上 理絵 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	川野 徳幸 ＜令和2年4月＞
		Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON ＜令和2年4月＞ Ph. D (Education) (韓国)
		教育学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) Comparative Studies in Higher Education Higher Education in Japan 特別研究
専	講師	桑山 尚司 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※
専	助教	村上 理絵 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	川野 徳幸 ＜令和2年4月＞
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	志賀 賢治 ＜令和2年4月＞ 学士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	保田 浩志 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	KIM YANGSON ＜令和2年4月＞ Ph. D (Education) (韓国)
		教育学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) Comparative Studies in Higher Education Higher Education in Japan 特別研究
専	講師	桑山 尚司 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ 教育学と社会※
専	助教	村上 理絵 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		学習開発学特論※ 特別支援教育実践研究 発達障害指導法特論
専	助教	大森 万理子 ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		教育基礎論 教育人材開発論
専	助教	KABIR RUSSELL SARWAR ＜令和3年4月＞ 博士(心理学)
		教育学のための研究法と倫理 教育学と社会※
兼任	教授	河合 幸一郎 ＜令和2年4月＞ 医学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	中坪 孝之 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	川野 徳幸 ＜令和2年4月＞
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	保田 浩志 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	吉田 雄一朗 ＜令和2年4月＞ Ph.D(Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人間社会科学のための科学史※
		張 峻屹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 ＜令和2年4月＞ 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 ＜令和2年4月＞ (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	金子 慎治 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト
		市橋 勝 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	田中 純子 ＜令和2年4月＞ 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
		森山(奥本) 美知子 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL ＜令和2年4月＞ 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		関 恒樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	吉田 雄一朗 ＜令和2年4月＞ Ph.D(Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人間社会科学のための科学史※
		張 峻屹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 ＜令和2年4月＞ 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 ＜令和2年4月＞ (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	金子 慎治 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 異分野協働プロジェクト
		市橋 勝 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	田中 純子 ＜令和2年4月＞ 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
		森山(奥本) 美知子 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL ＜令和2年4月＞ 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		関 恒樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	吉田 雄一朗 ＜令和2年4月＞ Ph.D(Economics) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※ 人間社会科学のための科学史※
		張 峻屹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	吉田 修 ＜令和2年4月＞ 法学修士 Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
		片柳 真理 ＜令和2年4月＞ (PhD in Law) (英国) Japanese Experience of Social Development- Economy, SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学特別講義※
兼担	教授	金子 慎治 ＜令和2年4月＞ 博士(工学) 異分野協働プロジェクト
		市橋 勝 ＜令和2年4月＞ 博士(理学) Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼担	教授	田中 純子 ＜令和2年4月＞ 医学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※ 医療情報リテラシー※
		森山(奥本) 美知子 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※ SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	教授	MAHARJAN, KESHAV LALL ＜令和2年4月＞ 農学博士 Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※
		関 恒樹 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) Japanese Experience of Human Development-Culture, Education, and Health※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼担	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学) データリテラシー※
		工藤 美樹 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼担	教授	有廣 光司 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		粟井 和夫 〈令和2年4月〉 医学博士 医療情報リテラシー※
兼担	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼担	教授	三須 敏幸 〈令和2年4月〉 博士(理学) 人文社会系キャリアマネジメント

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼担	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学) データリテラシー※
兼担	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学) 医療情報リテラシー※
兼担	教授	森 玲子 〈令和2年4月〉 M.A(Social Science) 人文社会系キャリアマネジメント

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	実岡 寛文 〈令和2年4月〉 農学博士 SDGsへの学問的アプローチA※
		小池 一彦 〈令和2年4月〉 博士(水産学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	教授	河合 研至 〈令和2年4月〉 工学博士 SDGsへの学問的アプローチB※
		鈴木 由美子 〈令和2年4月〉 教育学博士 SDGsへの実践的アプローチ
兼担	教授	坂田 桐子 〈令和2年4月〉 博士(学術) ダイバーシティの理解※
		大池 真知子 〈令和2年4月〉 博士(人文科学) ダイバーシティの理解※
兼担	教授	柳原 宏和 〈令和2年4月〉 博士(理学) データリテラシー※
兼担	教授	久保 達彦 〈令和2年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー※
		吉村 健一 〈令和2年4月〉 博士(保健学) 医療情報リテラシー※
兼担	教授	三須 敏幸 〈令和3年4月〉 博士(理学) 人文社会系キャリアマネジメント

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ※
兼担	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ※
兼担	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	西村 浩二 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		情報セキュリティ※
兼担	教授	片木 晴彦 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	松浦 武人 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	衛藤 吉則 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	溝渕 園子 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	安嶋 紀昭 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	小川 恒男 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	大内田 康德 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼担	教授	宮永 文雄 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	永山 博之 〈令和2年4月〉 法学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼担	教授	江頭 大蔵 〈令和2年4月〉 文学修士
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼担	教授	服巻 豊 〈令和2年4月〉 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 博 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	星野 一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(会計学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI ＜令和2年4月＞ Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 博 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI ＜令和2年4月＞ Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	手塚 貴大 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 博 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	森田 愛子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本田 義央 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小林 英起子 ＜令和2年4月＞ DOCTOR PHILOSOPHIAE (ドイツ)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	井上 永幸 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	末永 高康 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	本多 博之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	大澤 俊一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	前野 弘志 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	今林 修 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	PELTOKORPI VESA MATTI ＜令和2年4月＞ Ph. D. (International Business) (フィンランド)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	杉村 和美 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	秋野 成人 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	田村 耕一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	友澤 和夫 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	野島 永 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	今田 良信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト
兼任	教授	加藤 厚海 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学) 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅利 宙 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	盧 濤 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小柏(河原) 葉子 ＜令和2年4月＞ 国際学修士 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	秋野 成人 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	田村 耕一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	友澤 和夫 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	野島 永 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	今田 良信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅利 宙 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	盧 濤 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小柏(河原) 葉子 ＜令和2年4月＞ 国際学修士 人間社会科学特別講義※
兼任	教授	秋野 成人 ＜令和2年4月＞ 法学修士 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	田村 耕一 ＜令和2年4月＞ 博士(法学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	高永 茂 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	友澤 和夫 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有元 伸子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	森永 康子 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	八尾 隆生 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	野島 永 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	今田 良信 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	林 幸一 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学のための科学史※ 異分野協働プロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	角谷 快彦 ＜令和2年4月＞ PhD (Economics) (オーストラリア)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	奥村 晃史 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	築達 延征 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	岩永 誠 ＜令和2年4月＞ 学術博士
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	久保田 啓一 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	杉村 伸一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	松本 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		学習開発学発展研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 _a 子どもと学習材デザイン発展研究 _a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	角谷 快彦 ＜令和2年4月＞ PhD (Economics) (オーストラリア)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	奥村 晃史 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	築達 延征 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	岩永 誠 ＜令和2年4月＞ 学術博士
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	久保田 啓一 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	杉村 伸一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	松本 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		学習開発学発展研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 _a 子どもと学習材デザイン発展研究 _a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宮川 朗子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	有馬 卓也 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	角谷 快彦 ＜令和2年4月＞ PhD (Economics) (オーストラリア)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	井内 太郎 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	奥村 晃史 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	大地 真介 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	築達 延征 ＜令和2年4月＞ Ph. D. (Doctor of Philosophy) (米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	岩永 誠 ＜令和2年4月＞ 学術博士
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	久保田 啓一 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	杉村 伸一郎 ＜令和2年4月＞ 博士(教育心理学)
		異分野協働プロジェクト
兼任	教授	宮里 智恵 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		平和教育の構築への実践的アプローチ
兼任	教授	松本 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		学習開発学発展研究※ 子どもと学習材デザイン基礎研究 _a 子どもと学習材デザイン発展研究 _a

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 聡 ＜令和2年4月＞ DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		高等教育経済論 Advanced Statistics Higher Education in Japan 特別研究
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		MOT入門
兼任	教授	小林 信一 ＜令和2年4月＞ 学術修士(社会工学)
		学術政策論
兼任	准教授	川口 隆行 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		国語文化教育学特別研究A 表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語) 表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 聡 ＜令和2年4月＞ DOCTOR OF PHILOSOPHY (米国)
		高等教育経済論 Advanced Statistics Higher Education in Japan 特別研究
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		MOT入門
兼任	教授	小林 信一 ＜令和2年4月＞ 学術修士(社会工学)
		教育学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 学術政策論 Higher Education in Japan 特別研究
兼任	教授	難波 博孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ カリキュラム開発特別研究
兼任	教授	辰井 聡子 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) Higher Education in Japan 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究) 特別研究
兼任	教授	CHOURAK MOHAMED ＜令和2年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	教授	川口 隆行 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		国語文化教育学特別研究A 表象・文化と学習材デザイン基礎研究(国語) 表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 孝夫 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		MOT入門
兼任	教授	小林 信一 ＜令和2年4月＞ 学術修士(社会工学)
		教育学のための研究法と倫理※ 高等教育基礎論Ⅰ(理論・手法) 学術政策論 Higher Education in Japan 特別研究
兼任	教授	難波 博孝 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教育学のための研究法と倫理※ カリキュラム開発特別研究
兼任	教授	川口 隆行 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		表象・文化と学習材デザイン発展研究(国語)
兼任	教授	坂田 省吾 ＜令和3年4月＞ 医学博士
		人間社会科学特別講義
兼任	教授	早川 和彦 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学)
		人間社会科学特別講義

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼担	教授	西埜 晴久 〈令和3年4月〉 博士(経済学) 人間社会科学特別講義
						兼担	教授	MOUSOURAKIS GEORGE 〈令和3年4月〉 Doctor of Philosophy 人間社会科学のための科学史
						兼担	教授	三原 直樹 〈令和3年4月〉 博士(医学) 医療情報リテラシー
兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える※ 人間社会科学特別講義※	兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える※ 人間社会科学特別講義※	兼担	准教授	山根 達郎 〈令和2年4月〉 博士(国際公共政策) Hiroshimaから世界平和を考える※ 人間社会科学特別講義※
兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える※	兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える※	兼担	准教授	小宮山 道夫 〈令和2年4月〉 修士(教育学) Hiroshimaから世界平和を考える※
			兼担	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学) Hiroshimaから世界平和を考える※	兼担	准教授	友次 晋介 〈令和2年4月〉 博士(法学) Hiroshimaから世界平和を考える※
兼担	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※	兼担	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※	兼担	准教授	RAHMAN MD MOSHIUR 〈令和2年4月〉 博士(医学) SDGsへの学問的アプローチA※
兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※	兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※	兼担	准教授	日比野 忠史 〈令和2年4月〉 博士(工学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※	兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※	兼担	准教授	長谷川 祐治 〈令和2年4月〉 博士(環境学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※	兼担	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※ 人間社会科学のための科学史※	兼担	准教授	佐野 浩一郎 〈令和2年4月〉 博士(経済学) SDGsへの学問的アプローチB※
兼担	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ	兼担	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ	兼担	准教授	木下 博義 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ	兼担	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ	兼担	准教授	永田 忠道 〈令和2年4月〉 博士(教育学) SDGsへの実践的アプローチ
兼担	准教授	宮尾 淳一 〈令和2年4月〉 工学博士 データリテラシー※						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	森野 豊之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	大上 直秀 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Management) (Claremont Graduate University)
		アントレプレナーシップ概論
兼任	准教授	後藤 雄太 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	松嶋 健 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	大河内 治 ＜令和2年4月＞ Ph. D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	伊藤 奈保子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	伊森 晋平 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		データリテラシー※
兼任	准教授	大上 直秀 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Management) (Claremont Graduate University)
		アントレプレナーシップ概論
兼任	准教授	後藤 雄太 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	松嶋 健 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	大河内 治 ＜令和2年4月＞ Ph. D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	伊藤 奈保子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大上 直秀 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		医療情報リテラシー※
兼任	准教授	牧野 恵美 ＜令和2年4月＞ Ph. D (Management) (Claremont Graduate University)
		アントレプレナーシップ概論
兼任	准教授	後藤 雄太 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	奈良 勝司 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	松嶋 健 ＜令和2年4月＞ 博士(人間・環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	大河内 治 ＜令和2年4月＞ Ph. D in Economics (米国)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上手 由香 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	伊藤 奈保子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	梅村 比丘 ＜令和2年4月＞ Ph. D(人間発達・家族科学学) (米国)
		人間社会科学のための科学史※ 人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	杉浦 義典 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	上野 貴史 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川村 悠人 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	進矢 正宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	赤井 清晃 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	船田 善之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	小野 貞幸 ＜令和2年4月＞ Ph.D(経済学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	陳 俊甫 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	上泉(木庭) 康樹 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	折登 由希子 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	清水 寿代 ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	大嶋 広美 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)(中国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 秀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	徐 恩之 ＜令和2年4月＞ 博士(商学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	有賀 敦紀 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川村 悠人 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	進矢 正宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	吉中 信人 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	赤井 清晃 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	船田 善之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	小野 貞幸 ＜令和2年4月＞ Ph.D(経済学)
		人間社会科学特別講義※ 人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	陳 俊甫 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	上泉(木庭) 康樹 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	折登 由希子 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	清水 寿代 ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	大嶋 広美 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)(中国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 秀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	徐 恩之 ＜令和2年4月＞ 博士(商学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	有賀 敦紀 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	川村 悠人 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	進矢 正宏 ＜令和2年4月＞ 博士(人間環境学)
		人間社会科学特別講義※
兼任	准教授	赤井 清晃 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	船田 善之 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	小野 貞幸 ＜令和2年4月＞ Ph.D(経済学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	陳 俊甫 ＜令和2年4月＞ 博士(経営学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	上泉(木庭) 康樹 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	折登 由希子 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	清水 寿代 ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	大嶋 広美 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)(中国)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	後藤 秀昭 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	徐 恩之 ＜令和2年4月＞ 博士(商学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	准教授	有賀 敦紀 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学)(米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD(Social Sciences) (英国)
		異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 修士(教育学)
		学費政策論
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学)(米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	井上 嘉仁 〈令和2年4月〉 修士(法学)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	山根 明子 〈令和2年4月〉 博士(経済学)
		異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD(Social Sciences) (英国)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ 異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学費政策論
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	高橋 新吾 〈令和2年4月〉 博士(経済学)(米国)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	小川 景子 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学のための科学史※
兼担	准教授	VAN DER DOES LULI 〈令和2年4月〉 PhD(Social Sciences) (英国)
		Hiroshimaから世界平和を考える※ 異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	吉田(滝沢) 香奈 〈令和2年4月〉 博士(教育学)
		学費政策論 特別研究
兼担	准教授	安武 公一 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		異分野協働プロジェクト
兼担	准教授	TAFERNER ROBERT HORST 〈令和3年4月〉 修士(教育学)
		人間社会科学特別講義
兼担	准教授	増澤 拓也 〈令和3年4月〉 博士(経済学)
		人間社会科学のための科学史
兼担	准教授	緒形 ひとみ 〈令和3年4月〉 博士(スポーツ医学)
		人間社会科学のための科学史
兼担	准教授	GLENTON JONATHAN STUART MICHAEL 〈令和3年4月〉 博士(応用言語学)
		人間社会科学のための科学史
兼担	准教授	福井 敬祐 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー
兼担	講師	岩沢 和男 〈令和2年4月〉 理学博士
		情報セキュリティ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	金 宰ウク ＜令和2年4月＞ 博士(経営学) 人間社会科学特別講義※
兼担	講師	中空(那須) 萌 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※
兼担	講師	山崎 茜 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ
兼担	助教	北梶 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 情報セキュリティ※
兼担	助教	中川 雅央 ＜令和2年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	古川 昌文 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	吉田 有紀 ＜令和2年4月＞ 博士(サステナビリティ学) 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	奥村 真理子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	藤田 衛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	神原 利宗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	松本 舞 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	三木 大樹 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼担	講師	金 宰ウク ＜令和2年4月＞ 博士(経営学) 人間社会科学特別講義※
兼担	講師	中空(那須) 萌 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※
兼担	講師	山崎 茜 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ
兼担	助教	北梶 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 情報セキュリティ※
兼担	助教	服部 稔 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) ストレスマネジメント
兼担	助教	古川 昌文 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	吉田 有紀 ＜令和2年4月＞ 博士(サステナビリティ学) 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	奥村 真理子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	藤田 衛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	神原 利宗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	松本 舞 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	三木 大樹 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 医療情報リテラシー※
兼担	講師	金 宰ウク ＜令和2年4月＞ 博士(経営学) 人間社会科学特別講義※
兼担	講師	中空(那須) 萌 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 人間社会科学のための科学史※
兼担	講師	山崎 茜 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学) 平和教育の構築への実践的アプローチ
兼担	助教	北梶 陽子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) ダイバーシティの理解※
兼担	助教	渡邊 英伸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) 情報セキュリティ※
兼担	助教	服部 稔 ＜令和2年4月＞ 博士(学術) ストレスマネジメント
兼担	助教	中川 雅央 ＜令和3年4月＞ 博士(経済学) 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	古川 昌文 ＜令和2年4月＞ 文学修士 人間社会科学特別講義※
兼担	助教	奥村 真理子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	藤田 衛 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	神原 利宗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 人間社会科学のための科学史※
兼担	助教	松本 舞 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 人間社会科学のための科学史※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	田中 剛 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		国際標準化論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	古田 拓也 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	井上 祐樹 〈令和2年4月〉 博士(技術経営)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		ルール形成のための国際標準化

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	岡本 慎平 〈令和2年4月〉 博士(文学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	古田 拓也 〈令和2年4月〉 博士(法学)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	井上 祐樹 〈令和2年4月〉 博士(技術経営)
		人間社会科学のための科学史※
兼任	助教	笛吹 理絵 〈令和2年4月〉 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
兼任	助教	赤瀬 大 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		データリテラシー
兼任	助教	RAMASAMY SARAVANAKUMAR 〈令和3年4月〉 博士(数学)(インド)
		データリテラシー
兼任	助教	蝶 慎一 〈令和3年4月〉 博士(教育学) (英国)
		大学教育論 高等教育基礎演習Ⅰ(実践研究)
兼任	教授	小笹 晃太郎 〈令和2年4月〉 医学博士
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	阿部 伸一 〈令和2年4月〉 学士(工学)
		医療情報リテラシー※
兼任	教授	原田 淳 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		ストレスマネジメント 理工系キャリアマネジメント
兼任	教授	田辺 孝二 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		未来創造思考(基礎)
兼任	教授	和泉 章 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		ルール形成のための国際標準化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	延岡 健太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	藤本 隆宏 ＜令和3年4月＞ D. B. A (米国)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	小方 直幸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		学生論
兼任	教授	池田 秀雄 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		理科教育開発論
		科学教育開発基礎論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	延岡 健太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	藤本 隆宏 ＜令和3年4月＞ D. B. A (米国)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	小方 直幸 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		学生論
兼任	教授	楠田 哲也 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		環境原論A
		環境原論B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	延岡 健太郎 ＜令和3年4月＞ 博士(経営学)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	藤本 隆宏 ＜令和3年4月＞ D. B. A (米国)
		理工系のための経営組織論
兼任	教授	森 玲子 ＜令和3年4月＞ M. A(Social Science)
		人文社会系キャリアマネジメン ト
兼任	教授	五味淵 典嗣 令和3年4月 博士(文学)
		表象・文化と学習材デザイン基 礎研究(国語)
兼任	教授	西原 大輔 ＜令和3年4月＞ 博士(学術)
		人間社会科学特別講義※
		人間社会科学のための科学史※
		日本近代文学特講
		日本近代文学演習
		特別研究
兼任	教授	楠田 哲也 ＜令和2年4月＞ 工学博士
		環境原論A
		環境原論B
兼任	教授	志賀 賢治 ＜令和3年4月＞ 学士(法学)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	教授	竹内 正興 ＜令和3年4月＞ 博士(教育学)
		人文社会系キャリアマネジメン ト
兼任	教授	松塚 ゆかり ＜令和3年4月＞ Ph. D. (米国)
		高等教育経済論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	ERTCSO YUKIKO BRIDGE 〈令和2年4月〉 M. A. (Counseling Psychology) (米国)	学校臨床心理学
兼任	講師	三角 幸子 〈令和2年4月〉 修士(経営学)	Japanese Experience of Social Development- Economy, Infrastructure, and Peace※
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国)	SDGsへの学問的アプローチ A※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	ERTCSO YUKIKO BRIDGE 〈令和2年4月〉 M. A. (Counseling Psychology) (米国)	学校臨床心理学
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	データビジュアライゼーション A データビジュアライゼーション B
兼任	准教授	又吉 里美 〈令和2年6月〉 博士(学術)	言語・コミュニケーション表現と 学習材デザイン基礎研究(国語)
兼任	准教授	小西 いずみ 〈令和2年4月〉 博士(文学)	言語・コミュニケーション表現と 学習材デザイン発展研究(国語)
兼任	准教授	佐藤(望月) 万知 〈令和2年4月〉 Doctor of Philosophy (Education)	大学教育論
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国)	SDGsへの学問的アプローチ A※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	ERTCSO YUKIKO BRIDGE 〈令和2年4月〉 M. A. (Counseling Psychology) (米国)	学校臨床心理学
兼任	准教授	川田 恵介 〈令和2年4月〉 博士(経済学)	データビジュアライゼーション A データビジュアライゼーション B
兼任	准教授	渋谷 由香 〈令和3年4月〉 博士(音楽)	創造性と学習材デザイン基礎研究(音楽)
兼任	准教授	渡辺 俊哉 〈令和3年4月〉 修士(音楽)	創造性と学習材デザイン発展研究(音楽)
兼任	准教授	久井 英輔 〈令和3年4月〉 博士(教育学)	社会教育学特講 I 社会教育学特講 II 社会教育学演習 I 社会教育学演習 II
兼任	准教授	櫻井 千穂 〈令和3年4月〉 博士(言語文化学)	教育学と社会※ 年少者日本語教育特講 年少者日本語教育演習
兼任	講師	隈元 美穂子 〈令和2年4月〉 修士(経営開発学)(米国)	SDGsへの学問的アプローチ A※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川本 亮之 〈令和2年4月〉 学士(社会学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	講師	八木 恵里子 〈令和2年4月〉 国際開発学修士(米国)
		教育協力実践基礎論I※
兼任	講師	南村 亜矢子 〈令和2年4月〉 国際行政学修士
		教育協力実践基礎論I※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原山 優子 〈令和2年4月〉 博士(教育学)(経済学)
		SDGsへの学問的アプローチB※
兼任	講師	八木 恵里子 〈令和2年4月〉 国際開発学修士(米国)
		教育協力実践基礎論I※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 恵里子 〈令和2年4月〉 国際開発学修士(米国)
		教育協力実践基礎論I※
兼任	講師	STYCZEK URSZULA MARIA 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		Hiroshimaから世界平和を考える※
兼任	助教	楼 ジェ 〈令和3年4月〉 修士(Arts)
		人間社会科学特別講義

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

(専任教員関係)

- ・専任教員として就任(佐藤暢治教授、谷口京子准教授、杉田浩崇准教授、桑山尚司講師)
- ・就任辞退のため担当から削除(小西いずみ准教授、佐藤(望月)万知准教授)
- ・松原主典准教授が教授に昇任
- ・渡部倫子准教授が教授に昇任

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(志賀賢治教授、保田浩志教授、吉村健一教授、森玲子教授、手塚貴大教授、浅利宙教授、蘆濤教授、小柏(河原)葉子教授、難波博孝教授、辰井聡子教授、CHOURAK MOHAMED教授、友次晋介准教授、伊森晋平准教授、吉中信人准教授、井上嘉仁准教授、三木大樹講師、服部稔助教、古田拓也助教、井上祐樹助教)
- ・担当から削除(工藤美樹教授、有廣光司教授、粟井和夫教授、三須敏幸教授、星野一郎教授、加藤厚海教授、宮尾淳一准教授、森野豊之准教授、中川雅央助教)
- ・川口隆行准教授が教授に昇任

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(阿部伸一教授、楠田哲也教授、川田恵介准教授、又吉里美准教授、小西いずみ准教授、佐藤万知准教授、原山優子講師)
- ・担当から削除(田中剛教授、池田秀雄教授、三角幸子講師、川本亮之講師、南村亜矢子講師)

【令和3年度】

(専任教員関係)

- ・専任教員として就任(白田理人准教授、大野内愛准教授、多田羅多起子准教授、小口悠紀子准教授、尾川満宏准教授、金鐘成准教授、柳岡拓磨准教授、新海晃准教授、大森万理子助教、KABIR RUSSELL SARWAR助教)
- ・辞任のため担当から削除(西原大輔教授、久井英輔准教授、櫻井千穂准教授)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(三須敏幸教授、坂田省吾教授、早川和彦教授、西埜晴久教授、MOUSOURAKIS GEORGE教授、三原直樹教授、安武公一准教授、TAFERNER ROBERT HORST准教授、増澤拓也准教授、緒形ひとみ准教授、GLENTON JONATHAN STUART MICHAEL准教授、福井敬祐准教授、中川雅央助教、赤瀬大助教、RAMASAMY SARAVANAKUMAR助教、蝶慎一助教)
- ・担当から削除(志賀賢治教授、森玲子教授、手塚貴大教授、渡邊聡教授、辰井聡子教授、CHOURAK MOHAMED教授、伊森晋平准教授、吉中信人准教授、井上嘉仁准教授、山根明子准教授、吉田有紀助教)

(兼任教員関係)

- ・兼任教員として就任(森玲子教授、五味淵典嗣教授、西原大輔教授、志賀賢治教授、竹内正興教授、松塚ゆかり教授、渋谷由香准教授、渡辺俊哉准教授、久井英輔准教授、櫻井千穂准教授、STYCZEK URSZULA MARIA講師、棲ジェ助教)
- ・担当から削除(小方直幸教授、又吉里美准教授、小西いずみ准教授、佐藤(望月)万知准教授、原山優子講師)

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
17 名	— 名	— 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
64	56	8	1	129	0	66	60	9	3	138	0
(67)	(54)	(9)	(1)	(131)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
122	3	4				125	6	7			
(124)	(2)	(5)				(124)	(2)	(5)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
66	60	9	3	138	0	66	60	9	3	138	0
[2]	[4]	[1]	[2]	[9]	[0]	[2]	[4]	[1]	[2]	[9]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
125	6	7				125	6	7			
[3]	[3]	[3]				[3]	[3]	[3]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{138}{129} = \boxed{106.97} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{138} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	小西 いずみ	R2.3	選択	国語文化教育学特別研究A	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン基礎研究（国語）	②				
				選択	言語・コミュニケーション表現と学習材デザイン発展研究（国語）	②				
2	准教授	佐藤（望月） 万知	R2.3	選択	高等教育基礎論Ⅰ（理論・手法）	①	R2.3 一身上の都合のため就任辞退（2）			
				選択	高等教育基礎論Ⅱ（制度・政策）	①				
				選択	大学教育論	②				
				選択	Higher Education in Japan	①				
				選択	高等教育基礎演習Ⅰ（実践研究）	①				
				選択	特別研究	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	6	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	6	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	西原 大輔	R3.3	必修	人間社会科学特別講義	①	R3.3 他大学に就職のため辞任(3)		
				選択	人間社会科学のための科学史	①			
				選択	日本語教育研究方法論	①			
				選択	日本語教育学研究プロジェクト	①			
				選択	日本近代文学特講	②			
				選択	日本近代文学演習	②			
				選択	特別研究	①			
2	准教授	久井 英輔	R3.3	選択	教育科学と社会※	①	R3.3 他大学に就職のため辞任(3)		
				選択	社会教育学特講 I	②			
				選択	社会教育学特講 II	②			
				選択	社会教育学演習 I	②			
				選択	社会教育学演習 II	②			
				選択	特別研究	①			
3	准教授	櫻井 千穂	R3.3	選択	教育科学と社会※	①	R3.3 他大学に就職のため辞任(3)		
				選択	年少者日本語教育特講	②			
				選択	年少者日本語教育演習	②			
				選択	特別研究	①			
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	9 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
5	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	25 科目	選択	14 科目	選択	11 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	26 科目	計	15 科目	計	11 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)} + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{129} = \boxed{3.87} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目のうち、複数人体制のものは他の専任教員が授業を実施し、就任辞退者のみが担当していた授業科目については、兼任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。
 学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。
 就任辞退者のうち1名は公募中、もう1名は今後、人事委員会に対し人員措置申請を行う予定である。(2)

辞任者が担当していた授業科目のうち、複数人体制のものは他の専任教員が授業を実施し、辞任者のみが担当していた授業科目については、兼任教員が実施しているため、学生の履修等への影響はない。
 学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。
 辞任者のうち2名は公募中、もう1名は今後、人事委員会に対し人員措置申請を行う予定である。(3)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和元年)</p>	<p>大学院共通科目が本研究科の目的を達成するように、教育内容の充実や質の向上に努めること。なお、各学問分野の専門性の質とともに、学際的にすることによる教育効果並びに専門教育と学際的教育を実施することによる相乗効果について担保すること。</p>	<p>本研究科の2つのミッション、すなわち「人間と社会のための諸科学の追求」と「教育による持続可能で平和な世界の構築を目指す」に沿った人材育成の観点から、個々の学生にとって必要な大学院共通科目の履修を指導している。授業では、「異分野の学生が同じ場で学ぶ機会」を提供している。</p> <p>専門教育と学際的教育の質保証並びに双方による相乗効果については、各授業科目を充実させるとともに、修士論文（課題研究を含む）・博士論文の指導（グループ編成）を専門分野と異分野の教員の協働で行うことにより向上させる。(2)</p> <p>遵守事項</p> <p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に設置した。 委員会においては、担当教員の声や学生による授業改善アンケート結果に基づいて改善点を提起し、本研究科の目的を達成するような大学院共通科目のあり方を整理した。また、大学院共通科目の実施に伴う学際教育的教育の効果を検証した。 なお、整理・検証した結果は、全学の関連部署に報告した。</p> <p>専門教育と学際教育的教育の質保証並びに双方による相乗効果については、各授業科目を充実させるとともに、修士論文（課題研究を含む）・博士論文の指導（グループ編成）を専門分野と異分野の教員の協働で行っている。(3)</p>	<p>研究科長室会議や学務委員会と連携して機能する「共通科目実施委員会」を研究科内に立ち上げる。大学院共通科目についても、必要に応じて検討し、その充実に向けた要望等を、全学の関連部署に提出する。(2)</p> <p>履行済</p>

	<p>教育課程の体系性が4月入学を基本としており、10月入学の学生についても、本専攻が目指す人材像が養成できる教育課程が編成されることが、学生に対しても理解できるように周知すること。(助言事項)</p>	改善事項	<p>10月入学を実施する学位プログラムでは、Webシステムを活用した各学生便覧において、教育課程の編成が、すなわち履修基準の設定や学位取得(修士論文・課題研究・博士論文作成)のスケジュール等が10月入学生にも適用されうことを示し、その情報を入学直後のガイダンスでも適確に説明する。(2)</p>	履行済	<p>学位プログラム毎に実施する入学試験の募集要項において、10月入学の学生についても、4月入学の学生と同様に、本専攻が目指す人材像が養成できるように教育課程が編成されることを、情報として掲載する計画である。(2)</p>
	<p>教員の年間最大担当単位数の上限を設定するなど、単位数とともに、実習指導の時間も含めて、教員負担が過度にならないように努めること。(助言事項)</p>	改善事項	<p>共通科目の分担化(同分野の教員追加)を行った。また全教員の専門分野一覧表を作成して閲覧できるようにし、修士論文(課題研究を含める)・博士論文の指導グループ編成時に、特定の教員に副指導の負担が過度にかからないように努めた。(2)</p>	履行済	<p>各教員の授業担当単位数(実習を含める)及び研究指導学生数(主指導・副指導数)を調べ、教員負担が過度にならないように努めた。(2)</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)</p>	<p>該当なし</p>				

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人間社会科学研究科 教育科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日までは、対面による授業は中止し、オンラインで授業を実施している。(2)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間社会科学研究科長室会議（構成員：13名） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度：13回開催（概ね全員出席） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営面での重要事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD研修会 ・ 研究科FD ・ 新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学で実施するFDへの参加 ・ 研究科独自で実施するFDへの参加 ・ 全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間社会科学研究科FD <ul style="list-style-type: none"> 令和2年9月24日開催（参加教員数35名） 令和2年12月23日開催（参加教員数41名） 令和3年2月15日開催（参加教員数56名） ・ 新任教員のための研修会 <ul style="list-style-type: none"> 新採用教職員研修，新任教員スタートアップ研修（参加新任教員数延べ23名） 令和2年度は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信により実施
--

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学で実施する授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業担当教員及び受講学生へは、学生情報システムを活用することにより集計結果の閲覧が可能となっている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置時の計画どおり順調に履行している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を推進して行く。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年7月頃

b 公表方法

- ・大学の公式ウェブサイト上で公表

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和3年度）
 - a 公表予定の有無 [有]
 - b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
 - c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。